

令和8年度（2026年度）採用
愛知県公立学校教員採用選考試験
受験案内



愛知の**教育**が

愛知の**未来**を創る



愛知県教育委員会

出願から試験日、結果発表までの流れ

出願受付期間

令和7年4月25日（金）午前10時～5月9日（金）午後5時まで
※ 原則、インターネット（電子申請）により、出願してください。



第1次試験

令和7年6月14日（土）



第1次試験結果発表

令和7年7月7日（月）付で郵送・教職員課 Web ページに掲載



第2次試験

【1日目】 令和7年7月19日（土） 個人面接
【2日目】 令和7年7月20日（日） 実技試験
<実技実施教科> 音楽・美術・保健体育・英語・工業（デザイン）
※ 中学校教諭・高等学校教諭の受験区分のみ



結果発表

令和7年8月29日（金）付で郵送・教職員課 Web ページに掲載

※ 配置校の連絡
小中学校 : 3月中旬
県立学校（高等学校・特別支援学校） : 3月上旬

※ 申請内容や提出書類等について、登録いただいた連絡先（電話又はメールアドレス）に、御連絡する場合があります。

第1 選考試験概要

1 選考の種類と選考試験内容

選考の種類	選考試験内容	第1次試験（注1）			第2次試験	
		教職・教養	教科専門	小論文	1日目	2日目
					個人面接	実技試験 （注2）
1 一般選考	【p8】	○	○	○	○	※
2 英語有資格者特別選考（注3）	【p9】	○	○	○	○	免除
3 昨年度の補欠者に対する特別選考	【p9】	免除			○	※
4 現職教諭特別選考	【p9】	免除	○	○	○	※
5 市町村教育長推薦特別選考	【p9～p10】	免除			○	※
6 元教諭・講師経験者特別選考	【p10～p11】	免除	○	○	○	※
7 教職大学院修了見込者特別選考	【p11】	免除			○	※
8 大学院進学による採用辞退者に対する特別選考	【p11】	免除			○	免除
9 国際バカロレア教員資格特別選考	【p12】	免除			○	※
10 大学推薦特別選考	【p12】	免除			○	※
11 介護理由退職者特別選考	【p12】	免除			○	免除
12-1 大学3年生等前倒し特別選考	【p13】	○	○	○	※令和8年度に実施	
12-2 大学3年生等前倒し特別選考（前年度第1次試験合格者）	【p13】	免除			○	※

（注1） 外国語堪能者加点の申請者のみ、当該外国語による面接を実施します。

（注2） 実技試験を実施する教科は、音楽、美術、保健体育、英語、工業（デザイン）です。ただし、中学校教諭、高等学校教諭の受験区分のみとなります。

（注3） 選考の種類「2 英語有資格者特別選考」は3～7、10及び12-2と併願ができます。

2 第1次試験加点項目（「12-1 大学3年生等前倒し特別選考」は除く。）

ア 司書教諭（小学校教諭及び中学校教諭の受験区分のみ）	【p13】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1次試験を受験する人のうち、加点申請があり、申請資格に該当する人は第1次試験において加点します。（2項目以上の加点申請もできます。） ○ 「外国語（ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピン（タガログ）語）堪能者」は第1次試験において、当該外国語による面接があります。 ○ 「大学3年生等前倒し特別選考」については、加点はありません。
イ 外国語（ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピン（タガログ）語）堪能者	【p13～p14】	
ウ 国際バカロレア（英語による教科指導）	【p14】	
エ 登録日本語教員資格	【p14】	
オ 社会人	【p14～p16】	
カ 複数免許状	【p16～p17】	
キ 特別支援教育	【p17～p18】	
ク 小学校英語	【p18】	

3 障害者選考（別枠選考）

障害者選考	【p18】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障害者の申請があり、相当と認めた人は、第1次試験の筆記試験、第2次試験の個人面接（一部教科について実技試験）を行い、別枠で選考します。 ○ 一般選考及び全ての特別選考において、申請ができます。 <p>※必要書類を提出期限（令和7年5月9日（金）消印有効）までに提出【p8】</p>
--------------	--------------	---

第2 受験資格と出願の手続き

1 受験資格

A 「12-1 大学3年生等前倒し特別選考」以外の全ての選考について（ただし、「12-2 大学3年生等前倒し特別選考（前年度第1次合格者）」は含みます。）

次の全てに該当する人に限ります。

- (1) 地方公務員法第16条（欠格条項）及び学校教育法第9条（欠格事由）に該当しない人
- (2) 昭和41年（1966年）4月2日以降に生まれた人
- (3) 受験区分・教科に対応する普通免許状を現に所有している人、又は、令和8年（2026年）3月31日までに取得見込みの人。ただし、次の受験区分・教科について必要な要件は、以下のとおりとします。

受験区分	教科	必要な要件
高等学校教諭	地理歴史 公民	次のア、イのいずれかの要件を満たすこと ア 受験区分・教科に対応する普通免許状を所有、又は取得見込みであること イ 高等学校教諭・社会の普通免許状を所有していること
	工業 （デザイン）	次のア、イのいずれかの要件を満たすこと ア 高等学校教諭・工業の普通免許状を所有、又は取得見込みであること イ 高等学校教諭・デザインの普通免許状を所有、又は取得見込みであること
	水産 （情報通信）	次のア～ウの全ての要件を満たすこと ア 高等学校教諭・工業の普通免許状を所有、又は取得見込みであること イ 情報通信に関する分野を履修、又は専攻していること ウ 無線従事者免許（第一級陸上無線技術士又は第一級総合無線通信士）を所有していること
特別支援学校教諭		特別支援学校教諭等免許状を所有又は取得見込みでない場合は、当該免許状取得に必要な所定の単位を、採用後3年を目途に取得し、速やかに免許状取得の申請に努めること ※ 既に特別支援学校教諭等免許状を所有又は取得見込みの場合は、加点申請ができる場合がある。詳しくは受験案内の【p17～p18】を確認すること
小学部	—	小学校教諭の普通免許状を所有、又は取得見込みであること
中学・高等部	全教科	次のア、イのいずれかの要件を満たすこと ア 出願教科に対応した中学校教諭の普通免許状を所有、又は取得見込みであること イ 出願教科に対応した高等学校教諭の普通免許状を所有、又は取得見込みであること ※ 特別支援学校教諭・社会は、中学校教諭・社会の普通免許状を所有、または取得見込みであること

【重要】出願締切後に、出願要件（特別選考・加点項目の要件）を欠いていることが判明した場合は失格となりますので、必要な要件をよく確認した上で申込みをしてください。

所定の要件を見込みで受験した人が、選考の結果、合格、又は補欠となっても、その見込み要件を、令和8年（2026年）3月31日までに満たさなかった場合は、合格、又は補欠の資格が失効します。

出願締切後の、受験区分、出願内容（特別選考・加点項目）の変更はできません。

- (4) その他（次に該当する人は受験できません。）

平成11年（1999年）改正前の民法の規定による準禁治産宣言を受けている人（心神耗弱を原因とするもの以外）

B 「12-1 大学3年生等前倒し特別選考」について（ただし、「12-2 大学3年生等前倒し特別選考（前年度第1次合格者）」は除きます。）

次の全てに該当する人に限ります。

- (1) 地方公務員法第16条（欠格条項）及び学校教育法第9条（欠格事由）に該当しない人
- (2) 現在大学3年生等*で令和8年度（令和8年4月1日～令和9年3月31日）中に卒業見込みの人
※大学3年生等とは、大学、大学院、短期大学、専門学校の最終年次の1年前の年次の人である（いずれの学校にも所属していない科目履修生等は含まない。）。
- (3) 昭和42年（1967年）4月2日以降に生まれた人
- (4) 受験区分・教科に対応する普通免許状を現に所有している人、又は、令和9年（2027年）3月31日までに取得見込みの人。ただし、高等学校教諭地理歴史及び公民、特別支援学校教諭について、必要な要件は、【p3】の「1 受験資格 A（3）」の表に準ずる。なお、所定の要件を見込みで受験した人が、選考の結果、合格、又は補欠となっても、その見込要件を、令和9年（2027年）3月31日までに満たさなかった場合は、合格、又は補欠の資格が失効します。
- (5) その他（次に該当する人は受験できません。）
平成11年（1999年）改正前の民法の規定による準禁治産宣言を受けている人（心神耗弱を原因とするもの以外）

2 出願の方法・手続き及び提出書類等一覧

(1) 出願の方法

原則、インターネット（電子申請）により出願してください。

(2) 出願以降の流れ

ア 願書受付期間にすること

利用者登録	愛知県の公式Webサイト（ https://www.pref.aichi.jp/ ）下段の「オンラインサービス」の「電子申請・届出」をクリックし、「あいち電子申請・届出システム」にアクセスし、利用者登録をしてください。 ※ 既に登録済の方は登録する必要はありません。
↓	申込手続は、(1)システムの利用者登録、(2)試験申込の2段階です。利用者登録だけでは申込完了となりません。
申込情報入力	試験申込画面から必要事項を入力し、データを送信 ※ 出願できるのは1度のみです。誤って複数の申込をした場合は、1回目の申込が有効となります。 ※ 入力内容に誤りがないかよく確認してから送信してください。（出願内容の修正・変更は、出願受付期間の5月9日（金）午後5時までは「申込内容照会」から行えますが、それ以降は出願内容の修正・変更はできません。「再申込する」ではなく、「修正する」から修正・変更をしてください。）
↓	送信後、自動返信メールで整理番号とパスワードが送信されます。整理番号とパスワードは忘れないようにしてください。
受付完了	※ 出願に必要な提出書類（元教諭・講師経験者特別選考、国際バカロレア教員資格特別選考、大学推薦特別選考、介護理由退職者特別選考、障害者選考が該当）がある場合は、5月9日（金）＜消印有効＞までに郵送してください。 ※ 予期せぬ機器停止や通信障害などが起きた場合のトラブルについては、一切責任を負いません。

イ 受験票発行後にすること

受験票配信	後日、受験票の発行をメールにて通知しますので、「申込内容照会」画面から受験票（PDF）をダウンロードしてください。 （令和7年6月2日（月）頃からダウンロード可能予定です。）
--------------	--

↓

**受験票・次紙
整理票等作成**

- ・受験票をA4判用紙に印刷後、顔写真を貼付し、受験票を作成してください。受験票は第1次試験、第2次試験に必ず持参してください。
- ・次紙に自己アピールを記入し、受験票と同じ顔写真を貼付してください。次紙については、写しを取ってください。
※次紙（写しを含む）は「12-1 大学3年生等前倒し特別選考受験者」は提出の必要はありません。
- ・整理票にも、受験票と同じ顔写真を貼付してください。
- ・切手貼付シートに110円分の切手を貼付してください。
- ・次紙、次紙（写し）（※「12-1 大学3年生等前倒し特別選考」受験者は不要）、整理票、切手貼付シートを、第1次試験において提出（全て片面印刷）してください。（第1次試験免除者は、6月14日（土）＜消印有効＞までに郵送で提出）

(3) 出願に必要な書類等（1～5は必ず（ただし、2、3は「12-1 大学3年生等前倒し特別選考」は不要）、6・7は必要な教科、選考による）

1	令和8年度（2026年度）採用 愛知県公立学校教員採用選考試験願書 （あいち電子申請・届出システムにより作成）
2	令和8年度（2026年度）採用 愛知県公立学校教員採用選考試験願書（次紙） （あいち電子申請・届出システムにより作成、受験票と同時にダウンロードし、自己アピールを記入し受験票と同じ顔写真を貼付すること） →第1次試験で持参し提出（第1次試験免除者は、6月14日（土）＜消印有効＞までに郵送で提出） ※ 「12-1 大学3年生等前倒し特別選考」受験者は不要
3	<u>上記2の写し※顔写真を貼付したものの写しを取る</u> こと →第1次試験で持参し提出（第1次試験免除者は、6月14日（土）＜消印有効＞までに郵送で提出） ※ 「12-1 大学3年生等前倒し特別選考」受験者は不要
4	整理票 及び 切手貼付シート（110円の通常郵便切手（記念切手不可）1枚を貼付すること） →第1次試験で持参し提出（第1次試験免除者は、6月14日（土）＜消印有効＞までに郵送で提出）
5	同一の顔写真3枚（縦4cm・横3cm） ①願書（次紙）に貼付 ②整理票に貼付 ③受験票に貼付 ※ 「12-1 大学3年生等前倒し特別選考」受験者は①を除く2枚
6	実技試験登録用紙（音楽（中学校教諭、高等学校教諭の受験区分のみ）の受験者） →第1次試験で持参し提出（第1次試験免除者は、6月14日（土）＜消印有効＞までに郵送で提出） ※ 「12-1 大学3年生等前倒し特別選考」の受験者は不要 ※ 保健体育（中学校教諭、高等学校教諭の受験区分のみ）の受験者はインターネット（電子申請）により実技試験種目を登録
7	選考の種類に応じて指示された書類（「3 申請手続き及び提出書類等一覧」【p6～p8】を参照） →5月9日（金）＜消印有効＞までに郵送で提出

※ 6、7の必要書類は、「(4) 願書の入力等」にある郵送先に、「受験区分○○、教科（科目）○○、出願書類在中」と朱書きして郵送してください。

必要な書類は、Web ページよりダウンロードしてください。

<https://www.pref.aichi.jp/site/kyoinsaiyou/>

(4) 願書の入力等

ア 願書の入力に当たっては、「愛知県公立学校教員採用選考試験受験案内」をよく読んでください。願書等に**不備がある場合には受理できません**ので注意してください。また、複数回の申込はできません。1回目の申込が有効となります。

イ 出願締切前であれば出願内容の修正ができますので、あいち電子申請・届出システムにログインの上、「申込内容照会」から登録内容を修正してください。その際、「再申込する」ではなく、「修正する」から修正をしてください。

ウ 出願締切後、記載事項に変更が生じた場合は、その変更事項を書面（A4判、任意の様式）で、「申立書」とし、「記入日」、「受験区分○○」・「教科（科目）○○」・（「受験番号」※受験票配信後）を記し、記名（自署）して教職員課へ届け出てください。

エ 願書の記載事項や履歴事項等に事実と異なる内容の記載があった場合や、特別選考や加点の申請をしたにもかかわらず、その要件を欠くことが判明した場合は、合格、又は補欠の決定を取り消すことがあります。

※ **インターネットでの申込ができない場合**

特別な事情によりインターネット申込ができない場合に限り、郵送による申込となります。この場合、紙で印刷された「令和8年度（2026年度）採用愛知県公立学校教員採用選考試験受験案内」が必要になります。以下の請求手続きに従って請求してください。

<p>郵送先 〒460-8534 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 愛知県教育委員会事務局管理部教職員課 (郵便番号とあて先を記載すれば住所は省略できます。) ※封筒の裏に「受験区分〇〇」「教科(科目)〇〇」(「受験番号」※受験票配信後)を朱書きしてください。</p>

郵送による請求手続き

返信用封筒(角形2号)に270円分の郵便切手を貼付し、受験者の氏名・住所と郵便番号を明記してください。請求用封筒の表に「令和8年度(2026年度)採用愛知県公立学校教員採用選考試験受験案内請求」と朱書きし、返信用封筒を同封して上記郵送先に、郵送にて請求してください。

郵送による願書受付期間

令和7年4月25日(金)～5月9日(金) <消印有効>

Q & A

- ① インターネット環境がなく、出願ができないのですが、どうすればよいでしょうか。
出願手続きについては、自宅のパソコン等でなくてもかまいません。知人や学校等のパソコンを使用し、出願を行ってください。なお、タブレットやスマートフォンからでも出願手続きは可能です。
- ② 受験票を印刷するためのプリンタを持っていませんが、どうすればよいでしょうか。
受験票の印刷については、自宅のプリンタでなくてもかまいません。知人や学校等のプリンタやコンビニのマルチコピー機などを利用し、印刷を行ってください。

3 申請手続き及び提出書類等一覧

一般選考や特別選考の出願資格【p8～p13】、第1次試験加点や障害者選考の申請資格【p13～p18】を確認の上、下記の手続きを行ってください。出願時に提出が必要な書類等は、「出願書類在中」と朱書きした封筒に「受験区分〇〇」「教科(科目)〇〇」を記載の上、上記の郵送先に**令和7年5月9日(金) <消印有効>まで**に、郵送にて提出してください。**提出書類の返却はできません**。第2次試験合格時に提出が必要な書類については、合格通知とともに締切等をお伝えします。なお、詳細については「第3 選考の種類」【p8～p13】、「第4 第1次試験加点」【p13～p18】、「第5 障害者選考(別枠選考)」【p18】で確認してください。

選考の種類	出願時、第2次試験合格・補欠時における手続き・提出物
一般選考	
音楽(特別支援学校教諭は除く。)、高等学校教諭・水産(情報通信)以外の一般選考は提出書類は不要(音楽(特別支援学校教諭は除く。))の受験者は実技試験登録用紙を第1次試験当日に持参(第1次試験免除者は郵送にて6月14日(土)(消印有効)までに提出) ※保健体育(特別支援学校教諭は除く。)の受験者はインターネット(電子申請)により実技試験種目を登録	
高等学校教諭・水産(情報通信)	合格・補欠時 ①～③の全てを提出 ① 教員免許取得時に必要とした単位修得証明書、または単位取得見込証明書 ② 情報通信に関する分野を履修、又は専攻していることを証明する書類 ③ 無線従事者免許(第一級陸上無線技術士又は第一級総合無線通信士)を所有していることを証明する書類
特別選考	
英語有資格者特別選考	合格・補欠時 出願資格を満たすことを証明する書類の提出(主催団体から教育委員会への直接送付も可) ※写しは不可(TOEICはダウンロードの上、印刷したもの可)
昨年度の補欠者に対する特別選考	出願時 電子申請の「必要事項」欄に昨年度の受験番号を入力 ※ 郵送の場合は、願書に記入
現職教諭特別選考	合格・補欠時 任用期間及び現職であることを証明する書類(在職期間証明書、職歴証明書、履歴カード、又は履歴書の写し等)の提出 ※写しの場合は 原本証明が必要

元教諭・講師経験者特別選考	出願時 令和7年5月9日（金）（消印有効）までに提出 「元教諭・講師経験者特別選考推薦書」（現勤務校の所属長が作成・職印を 押印 し、 厳封したもの。※写しは不可）を 愛知県教育委員会教職員課まで提出 すること ※ 出願区分に関わらず、志願者が推薦書を直接郵送すること
教職大学院修了見込者特別選考	合格・補欠時 教職大学院修了見込証明書の提出
大学院進学による採用辞退者に対する特別選考	合格・補欠時 ①及び②の全てを提出 ① 大学院修了見込証明書 ② 受験した区分・教科の専修免許状の写し、又は専修免許取得見込証明書
国際バカロレア教員資格特別選考	出願時 令和7年5月9日（金）（消印有効）までに提出 国際バカロレア教員認定証の写し ※取得見込みは不可
大学推薦特別選考	出願時 ①及び②の全てを提出 令和7年5月9日（金）（消印有効）までに提出 ① 「推薦書（大学推薦）」の提出（在学している大学の学長、又は学部長が作成、 職印を 押印 し、厳封したもの） ② 成績証明書（推薦基準を満たしていることが確認できる令和6年度末までのもの）
介護理由退職者特別選考	出願時 令和7年5月9日（金）（消印有効）までに提出 「介護理由退職者特別選考証明書」（写し）（原本証明されたもの）
大学3年生等前倒し特別選考（前年度第1次試験合格者）	出願時 電子申請の「必要事項」欄に昨年度の受験番号を入力 ※ 郵送の場合は、願書に記入

第1次試験加点項目	
司書教諭（小学校教諭・中学校教諭）	合格・補欠時 司書教諭資格を証明する書類（司書教諭講習修了証書）の写しの提出 ※取得見込みは不可
外国語（ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピン（タガログ）語）堪能者	出願時 電子申請の「必要事項」欄に、ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピン（タガログ）語のうち堪能な外国語名を入力
国際バカロレア（英語による教科指導）	合格・補欠時 出願資格を満たすことを証明する書類の提出（主催団体から教育委員会への直接送付も可）※写しは不可（TOEICはダウンロードの上、印刷したもの可）
登録日本語教員資格	合格・補欠時 登録日本語教員登録証の写しの提出 ※取得見込みは不可
社会人 （小学校教諭） （中学校教諭）	合格・補欠時 ① 社会人としての任用期間及び常勤の職にあることを証明できる所定の「在職証明書」（職印の 押印が必要 、官公庁は「履歴カード」又は「履歴書の写し」等）の提出
青年海外協力隊派遣経験者 （小学校教諭） （中学校教諭） （高等学校教諭） （特別支援学校教諭）	合格・補欠時 ①は上記（社会人）に同じ 合格・補欠時 ② 派遣期間を証明する書類の提出
技術科に関わる職務経験者 （中学校教諭・技術）	合格・補欠時 ②及び③の全てを提出 ② 大学又は大学院において、工業、農業及び情報等、当該教科に関わる学科を卒業（修了）したことを証明する書類 ③ 令和7年4月1日現在、常勤の職として、当該教科の各分野（材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報）に関わる実務経験を同一企業で連続5年以上（休職、育児休業等の期間を除く。）を有することを証明する書類
教科に関する高い専門性を有する者 （高等学校教諭・数学） （高等学校教諭・理科）	合格・補欠時 ②及び③の全てを提出 ② 学位授与証明書 ③ 大学院における単位取得証明書
工業に関する専門性を有する者 （高等学校教諭・工業）	合格・補欠時 ②及び③の全てを提出 ② 卒業証明書 ③ 大学における単位取得証明書

応用情報技術者試験等資格所有者 (高等学校教諭・情報)	合格・補欠時 ①は上記(社会人)に同じ	合格・補欠時 ② 応用情報技術者試験等の資格を証明する書類の写しの提出
看護師・看護教員経験者 (高等学校教諭・看護)		合格・補欠時②及び③の全て を提出 ② 看護師免許証の写し ③ 看護師・看護教員としての任用期間を証明する書類
介護福祉士・福祉教員経験者 (高等学校教諭・福祉)		合格・補欠時②及び③の全て を提出 ② 介護福祉士登録証の写し ③ 介護福祉士・福祉教員としての任用期間を証明する書類
専門調理師・調理師資格所有者 (高等学校教諭・家庭)		合格・補欠時②～④のいずれか を証明する書類を提出 ② 専門調理師の資格 ③ 調理師の資格及び10年以上の調理の業務又は調理実習について教育、研究又は実地指導の経験を有することを証明する書類 ④ 調理師の資格及び5年以上の調理の業務又は調理実習について教育、研究又は実地指導の経験を有することを証明する書類及び上記③と同等であることを証明する書類
教員経験者 (高等学校教諭・工業(デザイン))		合格・補欠時②及び③の全て を提出 ② 高等学校教諭・美術、または高等学校教諭・工芸の普通免許状の写し ③ 教員としての任用期間を証明する書類
情報通信に関する専門性を有する者 高等学校教諭・水産(情報通信)		合格・補欠時②～④の全て を提出 ② 教員免許取得時に必要とした単位修得証明書、または単位取得見込証明書 ③ 情報通信に関する分野を履修、または専攻していることを証明する書類 ④ 無線従事者免許(第一級陸上無線技術士又は第一級総合無線通信士)を所有していることを証明する書類
複数免許状	合格・補欠時 該当する普通免許状の写し、又は普通免許状取得見込証明書の提出 ※ 取得見込みで申請する場合は、必ず普通免許取得見込証明書の発行が可能かどうかを確認の上申請すること ※ 単位取得見込証明書は不可 ※ 普通免許取得見込証明書が発行できなかった場合や、見込要件を令和8年(2026年)3月31日までに満たさなかった場合は、合格又は補欠の資格が失効する。	
特別支援教育 (小学校教諭・中学校教諭・特別支援学校教諭)	合格・補欠時 特別支援学校教諭の領域が記された普通免許状の写し、又は普通免許状取得見込証明書の提出 ※ 取得見込みで申請する場合は、必ず普通免許取得見込証明書の発行が可能かどうかを確認の上申請すること ※ 単位取得見込証明書は不可 ※ 普通免許取得見込証明書が発行できなかった場合や、見込要件を令和8年(2026年)3月31日までに満たさなかった場合は、合格又は補欠の資格が失効する。	
小学校英語 (小学校教諭)	合格・補欠時 出願資格を満たすことを証明する書類の提出(主催団体から教育委員会への直接送付も可) ※ 写しは不可 (TOEICはダウンロードの上、印刷したもの可)	

障害者選考(別枠選考)	
障害者選考	出願時①及び②の全て を提出 令和7年5月9日(金)(消印有効)までに提出 ① 「障害者選考への出願者調査票」の提出 ② 障害者手帳等の写しの提出

※ 提出書類の返却はできません。

第3 選考の種類

※申込時は、受験資格の詳細な確認を行いませんが、資格要件を欠いていることが判明した時点で失格となりますので、特別選考の要件や提出書類についてよく確認の上で出願してください。

1 一般選考

出願資格	「1 受験資格」【p3～p4】に同じ
------	--------------------

2 英語有資格者特別選考		(第2次試験の実技試験を免除)
対 象	中学校教諭 高等学校教諭	英語
出願資格	<p>「1 受験資格」【p3～p4】に加えて、次の①～③の<u>いずれか</u>の要件を満たす人に限る。</p> <p>① TOEFL (国際教育交換協議会)において、iBT92 点以上 (令和5年6月以降の得点に限る。)を取得した人</p> <p>② TOEIC ((財)国際ビジネスコミュニケーション協会)において、860 点以上 (令和5年6月以降の得点に限る。)を取得した人 <u>(IPテストは不可)</u></p> <p>③ 実用英語技能検定 ((公財)日本英語検定協会) 1 級を、令和5年6月以降に取得した人</p>	
必要書類等	<p>合格時・補欠時出願資格を満たすことを証明する書類の提出 (主催団体から教育委員会への直接送付も可) ※写しは不可 (TOEICはダウンロードの上、印刷したもの可)</p>	

3 昨年度の補欠者に対する特別選考		(第1次試験の全てを免除)
出願資格	<p>「1 受験資格」【p3～p4】に加えて、次の①及び②の<u>全て</u>を満たす人に限る。</p> <p>① 「令和7年度(2025年度)採用 愛知県公立学校教員採用選考試験」を受験し、選考結果が「補欠」であった人 (ただし、「補欠」を辞退した人は除く。)</p> <p>② 「令和7年度(2025年度)採用 愛知県公立学校教員採用選考試験」のときと同一の受験区分・教科(科目)で受験する人</p>	
必要書類等	<p>出願時電子申請の「必要事項」欄に昨年度の受験番号を入力 ※ 郵送の場合は、願書に記入</p>	

4 現職教諭特別選考		(第1次試験の「教職・教養」を免除)
出願資格	<p>「1 受験資格」【p3～p4】に加えて、次の①及び②の<u>全て</u>を満たす人に限る。</p> <p>① 国立大学法人が設置する学校、又は公立学校の正規任用の教諭、養護教諭、又は栄養教諭の職にある人</p> <p>② 令和7年4月1日現在において、<u>通算3年以上</u> (休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人</p>	
必要書類等	<p>合格時・補欠時任用期間及び現職であることを証明する書類 (在職期間証明書、職歴証明書、履歴カード、又は履歴書の写し等) の提出 ※写しの場合は原本証明が必要</p>	

5 市町村教育長推薦特別選考		(第1次試験の全てを免除)
<p>※志願者の申請は不要</p>		
対 象	<p>小学校教諭、中学校教諭 (音楽・美術・技術・家庭は除く) 及び養護教諭 (小中学校)</p>	
要 件	<p>令和8年度(2026年度)採用愛知県公立学校教員採用選考試験に出願した者のうち、次の①～③の<u>全て</u>を満たす人に限る。</p> <p>① 令和7年4月1日以降に、愛知県内の公立小学校、中学校、又は義務教育学校 (名古屋市立を除く。)の職員 (正規任用の教諭、養護教諭及び栄養教諭を除き、非常勤の職にある者を含む。)として勤務している人</p> <p>② 次の<u>ア、イのいずれか</u>において、<u>通算3年以上</u> (休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 ※ 次のア、イの勤務実績は合算することができる。</p> <p>ア 元教諭としての勤務実績 令和7年3月31日までに、国立大学法人が設置する学校、又は公立学校において正規任用の教諭、養護教諭及び栄養教諭としての勤務実績を有すること</p>	

	<p>イ 講師経験者としての勤務実績</p> <p>平成30年4月1日から令和7年3月31日までの7年間に、国立大学法人が設置する学校、又は公立学校において常勤の講師（非常勤の職にある者を除く。）、又は常勤の養護教諭及び栄養教諭（正規任用者及び非常勤の職にある者を除く。）としての勤務実績を有すること</p> <p>③ 出願時に勤務する学校を設置する市町村の教育委員会教育長の推薦が得られた人</p> <p>※ 出願時に愛知県内の公立小学校、中学校、又は義務教育学校（名古屋市立を除く。）に勤務していない人は、市町村教育委員会教育長による推薦の対象とはならない。</p>		
勤務実績の算定方法について	元教諭、又は常勤の講師（非常勤の職にある者を除く。）、又は常勤の養護教諭及び栄養教諭（正規任用者及び非常勤の職にある者を除く。）として1日以上勤務している月は、1か月として算定することができる。		
審査結果	<p>書類審査の結果、相当と認められた人は、以下のとおり第1次試験の全てを免除する。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">市町村教育長推薦特別選考に相当すると認められた人</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1次試験の全てを免除します。 ・ 出願した選考の種類に関わらず、「市町村教育長推薦特別選考」と記載した受験票の配信をもって通知します。 </td> </tr> </table> <p>※相当と認められなかった場合は、出願した選考の受験者として受け付ける。</p>	市町村教育長推薦特別選考に相当すると認められた人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1次試験の全てを免除します。 ・ 出願した選考の種類に関わらず、「市町村教育長推薦特別選考」と記載した受験票の配信をもって通知します。
市町村教育長推薦特別選考に相当すると認められた人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1次試験の全てを免除します。 ・ 出願した選考の種類に関わらず、「市町村教育長推薦特別選考」と記載した受験票の配信をもって通知します。 		

6 元教諭・講師経験者特別選考（第1次試験の「教職・教養」を免除）

対 象	全校種		
出願資格	<p>「1 受験資格」【p3～p4】に加えて、次の①～③の全てを満たす人に限る。</p> <p>① 令和7年4月1日以降に、愛知県内の公立学校（名古屋市立学校を除く。）の職員（正規任用の教諭、養護教諭及び栄養教諭を除き、非常勤の職にある者を含む。）として勤務している人</p> <p>② 出願時に勤務する学校において所属長の推薦が得られた人</p> <p>③ 次のア、イのいずれかにおいて、通算3年以上（休職、育児休業等の期間を除く。）の勤務実績を有する人 ※ 次のア、イの勤務実績は合算することができる。</p> <p>ア 元教諭としての勤務実績</p> <p>令和7年3月31日までに、国立大学法人が設置する学校、又は公立学校において正規任用の教諭、養護教諭及び栄養教諭としての勤務実績を有すること</p> <p>イ 講師経験者としての勤務実績</p> <p>平成30年4月1日から令和7年3月31日までの7年間に、国立大学法人が設置する学校、又は公立学校において常勤の講師（非常勤の職にある者を除く。）、又は常勤の養護教諭及び栄養教諭（正規任用者及び非常勤の職にある者を除く。）としての勤務実績を有すること</p>		
勤務実績の算定方法について	元教諭、又は常勤の講師、又は常勤の養護教諭及び栄養教諭として1日以上勤務している月は、1月として算定することができる。		
審査結果	<p>書類審査の結果、相当と認められた人は、以下のとおり第1次試験の「教職・教養」を免除する。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">元教諭・講師経験者特別選考に相当すると認められた人</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1次試験の「教職・教養」を免除します。 ・ 「元教諭・講師経験者特別選考」と記載した受験票の配信をもって通知します。 </td> </tr> </table> <p>※出願資格を満たさない場合は、一般選考の受験者として受け付ける。</p>	元教諭・講師経験者特別選考に相当すると認められた人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1次試験の「教職・教養」を免除します。 ・ 「元教諭・講師経験者特別選考」と記載した受験票の配信をもって通知します。
元教諭・講師経験者特別選考に相当すると認められた人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1次試験の「教職・教養」を免除します。 ・ 「元教諭・講師経験者特別選考」と記載した受験票の配信をもって通知します。 		

必要書類等	<p>出願時令和7年5月9日(金)(消印有効)までに提出</p> <p>「元教諭・講師経験者特別選考推薦書」(現勤務校の所属長が作成・職印を押印し、厳封したもの。※写しは不可)を愛知県教育委員会教職員課まで提出すること</p> <p>※出願区分に関わらず、志願者が推薦書を直接郵送すること</p> <p>【推薦書の提出の流れ】</p> <pre> graph TD A[受験者] -- ①推薦依頼 --> B[出願時の所属長] B -- ②厳封された推薦書 --> A A -- ③受験者が厳封された推薦書を郵送にて提出 --> C[愛知県教育委員会教職員課] </pre> <p>③受験者が厳封された推薦書を郵送にて提出</p>

7 教職大学院修了見込者特別選考 (第1次試験の全てを免除)	
出願資格	<p>「1 受験資格」【p3～p4】に加えて、次の①及び②の全てを満たす人に限る。</p> <p>① 現在、教職大学院に在籍し、令和8年3月31日までに修了見込みの人</p> <p>② 愛知県の教員として勤務することを第1志望とする人</p>
必要書類等	合格時・補欠時 教職大学院修了見込証明書の提出

8 大学院進学による採用辞退者に対する特別選考 (第2次試験の個人面接のみ)	
出願資格	<p>「1 受験資格」【p3～p4】に加えて、次のア～ウのいずれかの要件を満たす人に限る。なお、令和8年度(2026年度)採用愛知県公立学校教員採用選考試験において、採用予定のある区分・教科に限る。辞退した時と同一の受験区分・教科(科目)で受験する場合は、第2次試験の個人面接での選考とする。</p> <p>ア 「令和5年度(2023年度)採用愛知県公立学校教員採用選考試験【2022年度実施】」を受験し、選考結果が「合格」で、大学院(教職大学院を含む。)進学を理由に辞退書を提出して採用を辞退し、次の①及び②の全てを満たした人</p> <p>① 令和8年3月31日までに大学院修士課程、又は博士前期課程を修了見込みであること</p> <p>② 令和8年4月1日までに、令和5年度(2023年度)採用愛知県公立学校教員採用選考試験で合格した区分・教科の専修免許状が取得できていること</p> <p>イ 「令和6年度(2024年度)採用愛知県公立学校教員採用選考試験【2023年度実施】」を受験し、選考結果が「合格」で、大学院(教職大学院を含む。)進学、又は在学を理由に辞退書を提出して採用を辞退し、次の①及び②の全てを満たした人</p> <p>① 令和8年3月31日までに大学院修士課程、又は博士前期課程を修了見込みであること</p> <p>② 令和8年4月1日までに、令和6年度(2024年度)採用愛知県公立学校教員採用選考試験で合格した区分・教科の専修免許状が取得できていること</p> <p>ウ 「令和7年度(2025年度)採用愛知県公立学校教員採用選考試験【2024年度実施】」を受験し、選考結果が「合格」で、大学院(教職大学院を含む。)在学を理由に辞退書を提出して採用を辞退し、次の①及び②の全てを満たした人</p> <p>① 令和8年3月31日までに大学院修士課程、又は博士前期課程を修了見込みであること</p> <p>② 令和8年4月1日までに、令和7年度(2025年度)採用愛知県公立学校教員採用選考試験で合格した区分・教科の専修免許状が取得できていること</p>
必要書類等	<p>合格時・補欠時①及び②の全てを提出</p> <p>① 大学院修了見込証明書</p> <p>② 受験した区分・教科の専修免許状の写し、又は専修免許状取得見込証明書</p>

9 国際バカロレア教員資格特別選考 (第1次試験の全てを免除)	
対 象	高等学校教諭 英語以外
出願資格	「1 受験資格」【p3～p4】に加えて、出願時に「国際バカロレア教員認定証」を保有している人に限る。 ※取得見込みは不可
必要書類等	出願時 令和7年5月9日(金)(消印有効)までに提出 国際バカロレア教員認定証の写し

10 大学推薦特別選考 (第1次試験の全てを免除)																								
出願資格	<p>「1 受験資格」【p3～p4】に加えて、次の①～④の全ての要件を満たす人に限ります。</p> <p>① 愛知県の教員として勤務することを第1志望とする人 ② 受験区分・教科に対応する教員免許状取得のための課程許可を受けている大学(短期大学、大学院、教職大学院を含む)を卒業見込みの人 ③ 在学する大学の学長、又は学部長の推薦が得られた人 ④ G P A (Grade Point Average) が3.5以上であること(最高を4.0とする)</p> $G P A = \frac{4 \times S \text{の取得単位数} + 3 \times A \text{の取得単位数} + 2 \times B \text{の取得単位数} + 1 \times C \text{の取得単位数}}{\text{総履修登録単位数(不合格及び不受験も含む)}}$ <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>評価</th> <th>得点</th> <th>G P</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">合格</td> <td>S</td> <td>100 ～ 90</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>89 ～ 80</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>79 ～ 70</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>69 ～ 60</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">不合格</td> <td>D</td> <td>59 ～ 0</td> <td rowspan="2">0</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>不受験</td> </tr> </tbody> </table> <p>※G P Aを利用していない場合は、 $\frac{S \text{の取得単位数} + A \text{の取得単位数}}{\text{総履修登録単位数(不合格及び不受験も含む)}} \geq 0.8$</p>		評価	得点	G P	合格	S	100 ～ 90	4	A	89 ～ 80	3	B	79 ～ 70	2	C	69 ～ 60	1	不合格	D	59 ～ 0	0	E	不受験
	評価	得点	G P																					
合格	S	100 ～ 90	4																					
	A	89 ～ 80	3																					
	B	79 ～ 70	2																					
	C	69 ～ 60	1																					
不合格	D	59 ～ 0	0																					
	E	不受験																						
必要書類等	<p>出願時令和7年5月9日(金)(消印有効)までに提出</p> <p>①及び②の全てを提出</p> <p>① 「推薦書(大学推薦)」の提出(在学している大学の学長、又は学部長が作成、職印を押印し、厳封したもの)</p> <p>② 成績証明書(推薦基準を満たしていることが確認できる令和6年度末までのもの)</p>																							

11 介護理由退職者特別選考 (第2次試験の個人面接のみ)	
出願資格	<p>「1 受験資格」【p3～p4】に加えて、次の要件を満たす人に限る。</p> <p>愛知県内の公立学校(名古屋市立学校を除く。)の正規任用教員(教諭・養護教諭・栄養教諭)であった人が、介護を理由にして退職し、「介護理由退職者特別選考証明書」の提出ができる人(退職時と同一校種、同一教科での出願に限る。)</p> <p>※ 「介護理由退職者特別選考証明書」の様式は、所属長を通じて、愛知県教育委員会教職員課に請求してください。</p>
介護理由退職者特別選考証明書について	<ul style="list-style-type: none"> 所定の「介護理由退職者特別選考証明書」の〔受験者記入欄〕に必要事項を記入の上、出願時に退職した愛知県内の公立学校(名古屋市立学校を除く。)の所属長に証明書の作成を依頼すること 「介護理由退職者特別選考証明書」は、写し(原本証明をされたもの)を提出し、原本は志願者本人で保管すること <p>※ 今後、介護を理由にして退職をする人は、所属長にこの制度の利用の有無について報告すること。また、退職時に所属長に証明書の作成を依頼し、退職者の責任で保管すること(退職時に作成した証明書は、出願の際に必要)</p>
必要書類等	<p>出願時令和7年5月9日(金)(消印有効)までに提出</p> <p>「介護理由退職者特別選考証明書」(写し) (原本証明されたもの)</p>

12-1 大学3年生等前倒し特別選考

(第1次試験のみ実施)

「令和8年度(2026年度)採用 愛知県公立学校教員採用選考試験」を大学3年生等で受験する人

出願資格	「1 受験資格」【p3～p4】に同じ			
大学3年生等前倒し特別選考について	第1次試験合格者については、令和9年度(2027年度)採用愛知県公立学校教員採用選考試験は、第2次試験からの受験となる。その際、改めて同一の受験区分・教科(科目)で出願の必要がある。また、第1次試験不合格者については、令和9年度(2027年度)採用愛知県公立学校教員採用選考試験の第1次試験の受験は可能である。詳細については、令和9年度採用の受験案内を確認すること			
	実施年度	年次	第1次試験	第2次試験
	令和7年度	大学3年生等	○	—
	令和8年度	大学4年生等	前年度の1次合格者	—
前年度の1次不合格者			○	○
※ なお、令和9年度に同一の受験区分・教科(科目)で採用予定がない場合は、出願することができない。また、翌年度へ第1次試験の合格の権利が持ち越されることはない。				

12-2 大学3年生等前倒し特別選考(前年度第1次試験合格者)

(第2次試験のみ実施)

「令和7年度(2025年度)採用 愛知県公立学校教員採用選考試験」において「大学3年生等前倒し特別選考」で受験し、第1次試験の選考結果が「合格」であった人

出願資格	「1 受験資格」【p3～p4】に加えて、次の条件を満たす人に限る。 ① 「令和7年度(2025年度)採用 愛知県公立学校教員採用選考試験【2024年度実施】」を受験し、第1次試験の選考結果が「合格」であった人 ② 「令和7年度(2025年度)採用 愛知県公立学校教員採用選考試験【2024年度実施】」のときと同一の受験区分・教科(科目)で受験する人
必要書類等	出願時 電子申請の「必要事項」欄に 昨年度の受験番号を入力 ※ 郵送の場合は、願書に記入

第4 第1次試験加点(「12-1 大学3年生等前倒し特別選考」は除く。)

次のア～クの項目について、【p8～p11】に記載の「1 一般選考」、「2 英語有資格者特別選考」、「4 現職教諭特別選考」及び「6 元教諭・講師経験者特別選考」で出願し、加点を希望する者のうち、相当と認められた人は、第1次試験の成績に【 】内の点数を加点します。

※ 申込時は、受験資格の詳細な確認をしますが、資格要件を欠いていることが判明した時点で失格となりますので、加点の要件や提出書類について、よく確認の上で申請してください。

ア 司書教諭	
加 点	【10点】
対 象	小学校教諭、中学校教諭
申請資格	出願時に司書教諭資格を保有している人に限る。 ※取得見込みは不可
必要書類等	合格時・補欠時 司書教諭資格を証明する書類(司書教諭講習修了証書)の写しの提出

イ 外国語(ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピン(タガログ)語)堪能者	
加 点	【A評価:20点、B評価:10点、C評価:加点なし】 ※ 第1次試験において当該外国語での面接を行い、その評価により第1次試験に加点する。
対 象	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭
申請資格	外国語(ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピン(タガログ)語)が堪能(児童生徒及び保護者とのコミュニケーションを図り、文化や生活習慣の違いを説明できる程度の語学力を有すること)である人に限る。

必要書類等	出願時 電子申請の「必要事項」欄に、ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピン(タガログ)語のうち堪能な外国語名を入力
-------	---

ウ 国際バカロレア（英語による教科指導）

加 点	【30点】
対 象	高等学校教諭 ※ 【重要】 ただし、英語を除く全ての教科・科目
申請資格	次の①～③のいずれかの要件を満たす人に限る。 ① TOEFL（国際教育交換協議会）において、iBT92点以上（令和5年6月以降の得点に限る。）を取得した人 ② TOEIC（(財)国際ビジネスコミュニケーション協会）において、860点以上（令和5年6月以降の得点に限る。）を取得した人（ IPテストは不可 ） ③ 実用英語技能検定（(公財)日本英語検定協会）1級を、令和5年6月以降に取得した人
必要書類等	合格時・補欠時 出願資格を満たすことを証明する書類の提出（主催団体から教育委員会への直接送付も可） ※写しは不可（TOEICはダウンロードの上、印刷したもの可）

エ 登録日本語教員資格

加 点	【10点】
対 象	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭
申請資格	出願時に登録日本語教員登録証を保有している人に限る。 ※取得見込みは不可
必要書類等	合格時・補欠時 登録日本語教員登録証の写しの提出

オ 社会人

加 点	【10点】
対象は校種、科目によって異なります。以下の区分等を確認すること	
「小学校教諭」及び「中学校教諭」の受験区分	
「1 受験資格」に加えて、次のア、イのいずれかの要件を満たす人に限る。	
申請資格	次の①～②の全てを満たす人 ア ① 申請時において、民間企業、官公庁等の常勤の職にある人。ただし、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。 ② 令和7年4月1日現在において、常勤の職として同一の企業で連続5年以上（休職、育児休業等の期間を除く。）の勤務実績を有する人 ※ ①と②の勤務先が異なる場合も可 ※ 常勤の職として1日以上勤務している月は、1月として算定することができる。 イ 青年海外協力隊として、令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間に、2年以上の派遣実績を有する人
「中学校教諭・技術」、「高等学校教諭」及び「特別支援学校教諭」の受験区分	
次のa～kに示す教科について、次のそれぞれの要件を満たす人に限る。 なお、常勤の職として1日以上勤務している月は、1月として算定することができる。	
特別免許状について	中学校教諭・技術、高等学校の受験区分（青年海外協力隊派遣経験者を除く。）においては、申請時点で受験区分・教科に対応する普通免許状を所有していなくても受験できるが、採用試験合格後、その教科の特別免許状の申請をし、取得することが必要である。
申請資格	a「中学校教諭・技術」（技術科に関わる職務経験者） 次の①～③の全てを満たす人に限る。 ① 申請時において、民間企業、官公庁等の常勤の職にある人。ただし、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。 ② 大学又は大学院において、工業、農業及び情報等、当該教科に関わる学科を卒業（修了）した人 ③ 令和7年4月1日現在において、常勤の職として、当該教科の各分野（材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報）に関わる実務経験を、同一の企業で連続5年以上（休職、育児休業等の期間を除く。）有する人 ※ ①と③の勤務先が異なる場合も可 ※ 常勤の職として1日以上勤務している月は、1月として算定することができる。

<p>b 「高等学校教諭」、「特別支援学校教諭」（青年海外協力隊派遣経験者） 次を満たす人に限る。</p>
<p>青年海外協力隊として、令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間に おいて、2年以上の派遣実績を有する人</p>
<p>c 「高等学校教諭・数学」（教科に関する高い専門性を有する人） 次の①～③の<u>全て</u>を満たす人に限る。</p>
<p>① 出願時において、民間企業又は官公庁等の常勤の職にある人。ただし、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。 ② 令和7年4月1日現在において、常勤の職として連続5年以上（休職、育児休業等の期間を除く。）の勤務実績を有する人 ※ ①と②の勤務先が異なる場合も可 ③ 大学院修士課程又は博士課程で、数学に関わる研究を修め、修士以上の学位を有する人</p>
<p>d 「高等学校教諭・理科」（教科に関する高い専門性を有する人） 次の①～③の<u>全て</u>を満たす人に限る。</p>
<p>① 出願時において、民間企業又は官公庁等の常勤の職にある人。ただし、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。 ② 令和7年4月1日現在において、常勤の職として連続5年以上（休職、育児休業等の期間を除く。）の勤務実績を有する人 ※ ①と②の勤務先が異なる場合も可 ③ 大学院修士課程又は博士課程で、物理、化学、生物又は地学に関わる研究を修め、修士以上の学位を有する人</p>
<p>e 「高等学校教諭・工業」（工業に関する専門性を有する人） 次の①～③の<u>全て</u>を満たす人に限る。</p>
<p>① 出願時において、民間企業又は官公庁等の常勤の職にある人。ただし、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。 ② 令和7年4月1日現在において、常勤の職として連続5年以上（休職、育児休業等の期間を除く。）の勤務実績を有する人 ※ ①と②の勤務先が異なる場合も可 ③ 大学で工業において、機械、電気、建築、土木、化学工業又はセラミックについて学んだ人</p>
<p>f 「高等学校教諭・情報」（応用情報技術者試験等資格所有者） 次の①～③の<u>全て</u>を満たす人に限る。</p>
<p>① 出願時において、民間企業又は官公庁等の常勤の職にある人。ただし、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。 ② 令和7年4月1日現在において、常勤の職として連続3年以上（休職、育児休業等の期間を除く。）の勤務実績を有する人 ③ 独立行政法人情報処理推進機構が行う情報処理技術者試験等において、次の<u>ア～クのいずれか1つ以上</u>の資格を所有していること ア 応用情報技術者試験（AP） イ 情報処理技術者試験要綱の試験区分に基づく高度試験 ウ ICT支援員能力認定試験 エ 教育情報化コーディネータ3級以上 オ 技術士 情報工学部門 カ PMP（プロジェクトマネジメント・プロフェッショナル） キ 中級ソフトウェア品質技術者資格 ク STQBテスト技術者資格認定</p>
<p>g 「高等学校教諭・看護」（看護師・看護教員経験者） 次の①～④の<u>全て</u>を満たす人に限る。</p>
<p>① 高等学校卒業以上の学歴がある人 ② 看護師免許を所有する人 ③ 出願時において、次の<u>ア、イのいずれか</u>に該当する人 ア 国公立、又は民間病院等の医療機関の常勤の看護師（助産師、保健師を含む。） イ 看護師養成機関（専攻科を設置する高等学校を含む。）の教員（看護科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。） ④ 次の<u>ア、イのいずれか</u>の勤務実績を有する人 ア 令和7年4月1日現在において、国公立、又は民間病院等の医療機関において常勤の看護師（助産師、保健師を含む。）として通算3年以上（休職、育児休業等の期間を除く。）の勤務実績を有する人 イ 令和7年4月1日現在において、次の<u>(ア)及び(イ)の全て</u>を満たす人 (ア) 国公立、又は民間病院等の医療機関の常勤の看護師（助産師、保健師を含む。）として通算1年以上（休職、育児休業等の期間を除く。）の勤務実績を有する人</p>

	<p>(イ) 看護師としての勤務実績と看護師養成機関（専攻科を設置する高等学校を含む。）の常勤の教員（看護科での勤務実績を有する実習助手を含む。）として<u>通算3年以上</u>（休職、育児休業等の期間を除く。）の勤務実績を有する人</p>
	<p>h 「高等学校教諭・福祉」（介護福祉士・福祉教員経験者） 次の①～④の<u>全て</u>を満たす人に限る。</p> <p>① 高等学校卒業以上の学歴がある人 ② 介護福祉士の資格を有する人 ③ 出願時において、次の<u>ア、イのいずれか</u>に該当する人 ア 社会福祉施設の常勤の介護福祉士 イ 介護福祉士養成機関（福祉科を設置する高等学校を含む。）の教員（福祉科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。） ④ 令和7年4月1日現在において、常勤の介護福祉士として<u>通算3年以上</u>（休職、育児休業等の期間を除く。）の勤務実績を有する人</p>
	<p>i 「高等学校教諭・家庭」（専門調理師等経験者） 次の①及び②の<u>全て</u>を満たす人に限る。</p> <p>① 高等学校卒業以上の学歴がある人 ② 出願時において、次の<u>ア～ウのいずれか</u>に該当する人 ア 専門調理師の資格を有する人 イ 調理師の資格を有し、10年以上調理の業務又は調理実習について、教育、研究又は実地指導の経験を有する人 ウ 調理師の資格を有し、5年以上調理の業務又は調理実習について、教育、研究又は実地指導の経験を有する人で、上記イと同等であると認められる人</p>
	<p>j 「高等学校教諭・工業（デザイン）」（教員経験者対象） 次の①～③の<u>全て</u>を満たす人に限る。</p> <p>① 高等学校教諭美術、または高等学校教諭工芸の普通免許状を所有する人 ② 出願時において、学校の教員（実習助手及び非常勤の職にある者を含む。）である人 ③ 令和7年4月1日現在において、学校の教員（実習助手及び非常勤の職にある者を含む。）として<u>通算3年以上</u>（休職、育児休業等の期間を除く。）の勤務実績を有する人</p>
	<p>k 「高等学校教諭・水産（情報通信）」 次の①～③の<u>全て</u>を満たす人に限る。</p> <p>① 高等学校卒業以上の学歴がある人 ② 出願時において、次の<u>ア～エのいずれか</u>に該当する人 ア 民間企業、官公庁等の常勤の総合無線通信士 イ 民間企業、官公庁等の常勤の陸上無線技術士 ウ 総合無線通信士養成機関（水産科を設置する高等学校を含む。）の教員（講師及び実習助手を含む。） エ 陸上無線技術士養成機関（水産科を設置する高等学校を含む。）の教員（講師及び実習助手を含む。） ③ 令和7年4月1日現在において、次の<u>ア～エのいずれか</u>に<u>通算3年以上</u>（休職、育児休業等の期間を除く。）の勤務実績を有する人 ア 民間企業、官公庁等の常勤の総合無線通信士 イ 民間企業、官公庁等の常勤の陸上無線技術士 ウ 総合無線通信士養成機関（水産科を設置する高等学校を含む。）の教員（講師及び実習助手を含む。） エ 陸上無線技術士養成機関（水産科を設置する高等学校を含む。）の教員（講師及び実習助手を含む。）</p>
必要書類等	<p>合格時・補欠時①及び②の全てを提出 ① 社会人としての任用期間及び常勤の職にあることを証明できる所定の「在職証明書」（職印の<u>押印必要</u>、官公庁は「履歴カード」又は「履歴書の写し」等）の提出 ② 【p7～p8】の表に示された各校種、教科ごとの必要書類</p>

カ 複数免許状	
加 点	【10点】
対 象	<p>小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭 ※ 養護教諭（小中学校）、養護教諭（県立学校）、栄養教諭の受験区分は除く。</p>

申請資格	各受験区分において、以下の出願教科以外の普通免許状を所有もしくは令和8年3月31日までに取得見込みの人（特別支援学校教諭の免許状は除く。） ・小学校教諭・・・幼稚園教諭又は中学校教諭 ・中学校教諭・・・小学校教諭又は受験教科以外の中学校教諭 ・高等学校教諭・・・中学校教諭又は受験教科以外の高等学校教諭 ・特別支援学校教諭・・・幼稚園教諭又は小学校教諭又は中学校教諭、又は高等学校教諭（出願教科以外の普通免許状であること） （以下の表のいずれかに該当すると認められた場合は、一律に10点を加点する。）				
	免許状 受験区分	幼稚園教諭 普通免許状	小学校教諭 普通免許状	中学校教諭 普通免許状	高等学校教諭 普通免許状
	小学校教諭	◎		◎	
	中学校教諭		◎	●	
	高等学校教諭			◎	●
	特別支援学校教諭 (小学部)	◎		◎	◎
特別支援学校教諭 (中・高)	◎	◎	●※		
◎ 加点対象 ● 加点対象（受験教科以外の教科の免許状） ※地理歴史、公民は社会と同一教科とみなす。					
必要書類等	合格時・補欠時 該当する普通免許状の写し、又は普通免許状取得見込証明書の提出 ※ 取得見込みで申請する場合は必ず普通免許状取得見込証明書の発行が可能かどうかを確認の上で申請すること（証明書がない場合は、見込の要件を確認できない。） ※単位取得見込証明書は不可 ※ 合格時及び補欠時に、当該の普通免許状の写しまたは普通免許状取得見込証明書が発行できなかった場合及び見込で申請した当該の普通免許状を令和8年3月31日までに取得できなかった場合は、合格又は補欠の資格が失効する。				

キ 特別支援教育	
加 点	【30点】
対 象	小学校教諭、中学校教諭、特別支援学校教諭 ※小学校教諭・中学校教諭においては、採用された初年度は原則として特別支援学級の担当にはならない。
「小学校教諭」及び「中学校教諭」の受験区分	
申請資格	次の①及び②の全てを満たす人に限る。 ① 特別支援教育担当を強く希望する人 ② 次のア～ウのいずれかに該当する人 ア 「盲学校教諭免許」「聾学校教諭免許」「養護学校教諭免許」について、いずれかを現に所有している人 イ 特別支援学校教諭免許について、「視覚障害者」「聴覚障害者」「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」の領域のうち1領域以上が記された普通免許状を現に所有している人 ウ 特別支援学校教諭免許について、「視覚障害者」「聴覚障害者」「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」の領域のうち1領域以上が記された普通免許状を令和8年3月31日までに取得見込みの人
「特別支援学校教諭」の受験区分	
申請資格	次の①～③のいずれかに該当する人 ① 「盲学校教諭免許」「聾学校教諭免許」「養護学校教諭免許」について、そのうち2種類以上を現に所有している人 ② 特別支援学校教諭免許について、「視覚障害者」「聴覚障害者」「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」の領域のうち2領域以上が記された普通免許状を現に所有している人 ③ 特別支援学校教諭免許について、「視覚障害者」「聴覚障害者」「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」の領域のうち2領域以上が記された普通免許状を令和8年3月31日までに取得見込みの人

必要書類等	合格時・補欠時 特別支援学校教諭の領域が記された普通免許状の写し、又は普通免許状取得見込証明書の提出 ※ 取得見込みで申請する場合は必ず普通免許状取得見込証明書の発行が可能かどうかを確認の上で申請すること。(証明書がない場合は、見込の要件を確認できない。) ※単位取得見込証明書は不可 ※ 合格時及び補欠時に、当該の普通免許状の写しまたは普通免許状取得見込証明書が発行できなかった場合及び見込で申請した当該の普通免許状を令和8年3月31日までに取得できなかった場合は、合格又は補欠の資格が失効する。
-------	--

ク 小学校英語	
加 点 対 象	【5点】 小学校教諭
申請資格	次の①～③のいずれかの要件を満たす人に限る。 ① TOEFL (国際教育交換協議会)において、PBT470点以上、又はiBT52点以上を取得した人 ② TOEIC ((財)国際ビジネスコミュニケーション協会)において、500点以上を取得した人 (IPテストは不可) ③ 実用英語技能検定 ((公財)日本英語検定協会) 1級、準1級、又は2級を取得した人
必要書類等	合格時・補欠時 出願資格を満たすことを証明する書類の提出 (主催団体から教育委員会への直接送付も可) ※写しは不可 (TOEICはダウンロードの上、印刷したもの可)

第5 障害者選考 (別枠選考)

障害者に対する選考を希望する者のうち、書類審査の結果、相当と認めた人は、第1次試験の筆記試験及び第2次試験の面接試験 (一部教科について実技試験) を行い、別枠で選考します。

愛知県では、障害のある方の教員採用に積極的に取り組んでいます。

選考試験の実施にあたり、試験会場や試験の実施方法について、車椅子での移動や点字受験、手話通訳者の配置等、障害の種類や程度に応じた配慮をします。障害のあることが、選考において不利になることはありません。

募集人数	小学校、中学校、県立学校で各10名程度、計30名程度
------	----------------------------

障害者選考	
申請資格	次の①～③のいずれかの要件を満たす人に限る。 ① 出願時に身体障害者手帳を交付されており、その障害の程度が1級から6級までの人 ② 出願時に療育手帳を交付されている人、もしくは、児童相談所、知的障害者福祉法第9条第6項に規定する知的障害者更生相談所、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第6条第1項に規定する精神保健福祉センター、精神保健指定医又は法第19条の障害者職業センターにより知的障害者と判定されている人 ③ 出願時に精神障害者保健福祉手帳を交付されている人
審査結果	書類審査の結果、相当と認めた人は、別枠で選考する。 書類審査の結果は、申請者に個別に連絡する。
必要書類等	出願時 令和7年5月9日(金)(消印有効)までに提出 ①及び②の全てを提出 ① 「障害者選考への出願者調査票」の提出 ② 障害者手帳等の写しの提出

※ 提出書類の返却はできません。

※ 「12-1 大学3年生等前倒し特別選考出願者」「12-2 大学3年生等前倒し特別選考出願者 (前年度第1次試験合格者)」も該当します。

第6 採用予定人員等

別紙「令和8年度(2026年度)採用 愛知県公立学校教員採用選考試験の採用予定人員等」を参照してください。

第1次試験 6月14日(土)

(1) 日程

8:50 9:10 9:40 10:40 11:05 12:05 13:00 14:00 14:20~

受付	諸連絡	小論文	休憩	教科専門	昼食	教職・教養	面接 (外国語堪能者)
----	-----	-----	----	------	----	-------	----------------

※ 特別選考の種類によって、外国語堪能者の面接時間が変わることがあります。

(2) 内容

試 験	内 容
筆記試験 小論文 教科専門 教職・教養 口述試験	<ul style="list-style-type: none"> ・900字詰め原稿用紙1枚 ・教科に関する知識(OCR方式) ・教職に関する基本的知識及び一般教養(OCR方式) ・外国語堪能者加点の申請者のみ、当該外国語による面接を実施

(3) 試験会場 (受験票に記載し通知します。)

試 験 会 場 所 在 地	交 通 機 関
小牧市立味岡中学校 小牧市小松寺4丁目1	○名鉄小牧線「味岡駅」下車東200m
津島市立藤浪中学校 津島市西柳原町4丁目45	○名鉄津島線「藤浪駅」下車南西750m ○名鉄津島線「津島駅」下車北東900m
大府市立大府北中学校 大府市東新町3の3の1	○JR東海道本線「共和駅」下車南東800m
碧南市立南中学校 碧南市春日町1の1	○名鉄三河線「碧南駅」下車北600m
知立市立知立中学校 知立市広見2の4	○名鉄本線「知立駅」下車東1,100m
愛知県立愛知総合工科高等学校 名古屋市千種区星が丘山手107	○地下鉄東山線「星ヶ丘駅」下車西650m
愛知県立瑞陵高等学校 名古屋市瑞穂区北原町2の1	○地下鉄桜通線「瑞穂区役所駅」下車西300m
愛知県立松蔭高等学校 名古屋市中村区烏森町2の2	○地下鉄東山線「岩塚駅」下車東900m ○近鉄名古屋線「烏森駅」下車北西400m
愛知県立昭和高等学校 名古屋市瑞穂区玉水町1の18	○地下鉄名城線「瑞穂運動場東駅」下車南東1,200m ○地下鉄名城線「新瑞橋駅」から市バス幹新瑞(島田住宅行、平針住宅行)、もしくは市バス瑞穂巡回(新瑞橋左回り)で「中根」下車すぐ ○名鉄神宮前駅から市バス神宮11系統(島田一ツ山行、又は相生山住宅行)で「中根」下車すぐ
愛知県立中村高等学校 名古屋市中村区菊水町1の2の18	○名古屋駅から市バス名駅25系統(名古屋駅行)で「豊公橋(東)」下車すぐ ○地下鉄東山線「本陣駅」から市バス名駅25系統左回り(名古屋駅行)で「豊公橋(東)」下車すぐ
愛知県立鳴海高等学校 名古屋市緑区左京山801	○名鉄本線「左京山駅」下車南東500m
愛知県立天白高等学校 名古屋市天白区植田東1の601	○地下鉄鶴舞線「植田駅」・「原駅」下車北1,200m
愛知県立旭野高等学校 尾張旭市印場町3の4の1	○名鉄瀬戸線「旭前駅」下車南西400m ○地下鉄東山線「藤が丘駅」から市バス藤丘12系統(東谷山フルーツパーク行)で印場下車東300m
愛知県立西春高等学校 北名古屋市弥勒寺西2の1	○名鉄犬山線「徳重・名古屋芸大駅」下車西1,000m ○名鉄犬山線「西春駅」下車西1,300m

愛知県立東海南高等学校 東海市加木屋町山 55	○名鉄河和線「南加木屋駅」下車西 700m
愛知県立刈谷北高等学校 刈谷市寺横町 1 の 67	○J R 東海道本線「刈谷駅」下車西 1,800m ○名鉄三河線「刈谷市駅」下車北 800m ○J R 東海道本線「逢妻駅」下車東南 1,500m

※ 試験会場への問い合わせは、御遠慮ください。

※ 試験会場の敷地内は全面禁煙です。

※ 試験会場へは公共交通機関を利用してください。(近隣の商業施設への駐車は厳禁です。)

※ 公共交通機関の遅れにより、やむを得ず受付時間に間に合わない場合は、①及び②のとおり対応してください。

① 試験会場に速やかに連絡

② 公共交通機関が発行する「遅延証明書」等を取得し、試験会場の受付で提示又は提出

公共交通機関問い合わせ先

○市バス・地下鉄テレホンセンター	052-522-0111 (8:00~19:00)
○J R 東海テレホンセンター	050-3772-3910 (6:00~24:00)
○名鉄お客さまセンター	052-582-5151 (8:00~19:00 (土・日・祝は~18:00))
○愛知環状鉄道株式会社	0565-39-0550 (10:30~13:30 14:15~19:00)
○近鉄電車テレホンセンター	050-3536-3957 (8:00~21:00)
○豊橋鉄道高師駅	0532-45-4927

※ 台風などの非常時における試験実施については、試験前日午後5時から愛知県教育委員会 Web ページに掲載します。

○ Web ページアドレス <https://www.pref.aichi.jp/site/kyoinsaiyou/>



(4) 持参品

1	受験票 (顔写真を貼付したもの)	
2	願書 (次紙: 自己アピールを記入し受験票と同じ顔写真を貼付したもの) ※ 今年度、「12-1 大学3年生等前倒し特別選考」で第1次試験を受験する人は不要	
3	上記2の願書 (次紙) の写し (顔写真を貼付した状態で写しを取ったもの) ※片面印刷 ※ 今年度、「12-1 大学3年生等前倒し特別選考」で第1次試験を受験する人は不要	
4	整理票及び切手貼付シート (110円分の通常郵便切手1枚を貼付したもの) ※片面印刷	
5	筆記用具 (HBの鉛筆又はシャープペンシル、プラスチック製消しゴム)	
6	上履き (会場校での貸し出しはしない。)	
7	下足入れ用のビニール袋	
8	昼食 (午前中で終了する人は不要)	
9	受験教科・科目によって必要とされた以下のもの	
	音楽 (特別支援学校 教諭は除く。)	実技試験登録用紙 必要な書類は、Web ページよりダウンロードすること https://www.pref.aichi.jp/site/kyoinsaiyou/
	商業	そろばん 又は 電子卓上計算機 (計算機能のみのものに限る。)
	工業 機械 電気 建築	関数電卓 (プログラム機能を有しないものに限る。)
	情報	電子卓上計算機 (計算機能のみのものに限る。)

※ 試験会場には時計を設置しません。

※ 時計を試験会場で使用する場合は、計時機能のみの時計に限ります。腕時計型ウェアラブルコンピュータ等のメールやインターネットへの接続機能のある機器（スマートウォッチ等）を試験中に使用することは認めません。また、携帯電話やスマートフォンを時計として使用することも認めません。

(5) 実技試験の登録について

音楽及び保健体育（特別支援学校教諭は除く。）を受験する人は、第2次試験で実施する実技試験の受験種目等を登録する必要があります。以下の内容に従い、音楽受験者（特別支援学校教諭は除く。）は第1次試験時に登録用紙を提出、保健体育受験者（特別支援学校教諭は除く。）はインターネット（電子申請）で登録をしてください。出願締切後の内容変更については一切認めません。なお、今年度、「12-1 大学3年生等前倒し特別選考」で第1次試験を受験する人は不要です。

ア	音楽 (特別支援学校教諭は除く。)	<p>第2次試験で専攻実技と共通課題の2種目を実施する。それぞれの試験について、演奏時に楽譜を1部提出すること。演奏終了時に返却する。</p> <p>専攻実技試験について 受験専攻種目を下記のA～Cより選び、第1次試験時に演奏曲目とともに登録用紙を提出すること。なお、<u>登録用紙はWebページよりダウンロードすること</u>（第1次試験免除者は他の書類とともに郵送すること）</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>A</td><td>ピアノ</td></tr> <tr><td>B</td><td>声楽</td></tr> <tr><td>C</td><td>AとB以外</td></tr> </table> <p>※ C種目については受験楽器名も明記すること ※ コントラバス、マリンバの当日借用希望、大型楽器の搬入予定は登録時に明記すること</p> <p>受験曲について ① 演奏時間が5分以上になるように曲を準備し、暗譜演奏とする（複数曲でも可）。演奏時間が長いものについては、演奏箇所の指定を行う場合がある。 ② B及びC種目で伴奏の必要な曲目は、必ず伴奏者を同伴すること ※ 伴奏者は実技試験開始までに集合のこと ※ 第2次試験の受験者が伴奏者になることはできない。 ③ B種目の曲目は、共通課題以外の曲とすること</p> <p>共通課題について ① 弾き歌いについて【伴奏はピアノとする。】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>受験区分</th> <th>課 題 曲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校</td> <td>「赤とんぼ」三木露風／作詞 山田耕筰／作曲</td> </tr> <tr> <td>高等学校</td> <td>「Sehnsucht nach dem Frühling（春への憧れ）」 Christian Adolf Overbeck／作詞 Wolfgang Amadeus Mozart／作曲 (原語唱)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 該当する受験区分の課題曲をピアノ伴奏で歌うこと。ただし、調性は任意とするが、作曲者によるピアノ伴奏にアレンジを加えないこと ※ 演奏時間が長いものについては、演奏箇所の指定を行う場合がある。 ② 新曲視唱奏【歌詞を伴わない新曲の初見視唱奏で、伴奏はピアノとする。】 ※ コード・ネーム付きの単旋律にふさわしい伴奏を付け、母音唱又は固定ド唱のいずれかで歌うこと ※ 左手で伴奏を付け、右手で旋律を弾きながら歌ってもよい。 ※ コード・ネームを参考に伴奏するが、任意にアレンジを加えてもよい。</p>	A	ピアノ	B	声楽	C	AとB以外	受験区分	課 題 曲	中学校	「赤とんぼ」三木露風／作詞 山田耕筰／作曲	高等学校	「Sehnsucht nach dem Frühling（春への憧れ）」 Christian Adolf Overbeck／作詞 Wolfgang Amadeus Mozart／作曲 (原語唱)
A	ピアノ													
B	声楽													
C	AとB以外													
受験区分	課 題 曲													
中学校	「赤とんぼ」三木露風／作詞 山田耕筰／作曲													
高等学校	「Sehnsucht nach dem Frühling（春への憧れ）」 Christian Adolf Overbeck／作詞 Wolfgang Amadeus Mozart／作曲 (原語唱)													

イ	保健体育 (特別支援学校教諭は除く。)	第2次試験の中学校教諭、高等学校教諭の保健体育実技試験の種目は以下のとおりである。種目の選択については <u>インターネット(電子申請)で登録すること</u>				
		全員実施	器械運動	マット運動		
ウ	その他	中学校教諭、高等学校教諭の以下の教科については、第2次試験において以下の内容で実技試験を実施する。事前の登録は不要である。	陸上競技・水泳	①陸上競技 ②水泳	①・②から1種目を選択	
			選択	武道・ダンス	③柔道 ④剣道 ⑤ダンス	③・④・⑤から1種目を選択
			球技1	⑥サッカー ⑦ハンドボール	⑥・⑦から1種目を選択	
			球技2	⑧バレーボール ⑨バスケットボール	⑧・⑨から1種目を選択	
※ 雨天時の種目については、当日指示する。						
			美術	デッサン		
			英語	「Talk on Various Topics」 「Questions & Answers」 「Short Speech」		
			工業(デザイン)	アイデアスケッチ及び想定デッサン		

(6) 第1次試験の結果通知(第1次試験合格者及び免除者については、第2次試験の受付時間及び試験会場等を通知します。)

受験者には、第1次試験の結果を7月7日(月)付けで郵送により通知します。なお、掲示による可否の発表はしませんが、7月15日(火)までに通知書が到着しない場合は、教職員課まで照会してください。

第2次試験 1日目 7月19日(土)

(1) 日程

- ・受付時間は第1次試験結果通知書に記載します。また、日程は受付時にお知らせします。
- ・実技試験が課せられる教科・科目を受験する人が、第2次試験1日目を欠席した場合は、2日目の実技試験の受験はできません。

(2) 内容

個人面接

- ・受験者1名につき、15分間の個人面接を連続して2回実施します。
- ・個人面接を2回受験しなかった場合は、第2次試験の欠席者として取扱います。

(3) 持参品

1	受験票
2	第1次試験結果通知書
3	上履き(会場校での貸し出しはしません。)
4	下足入れ用のビニール袋
5	筆記用具
6	320円分の郵便切手(記念切手不可)
7	のり(切手貼付用)
8	問診票(保健体育の実技試験受験者のみ)

※ 時計を試験会場で使用する場合は、計時機能のみの時計に限ります。腕時計型ウェアラブルコンピュータ等のメールやインターネットへの接続機能のある機器(スマートウォッチ等)を試験中に使用することは認めません。また、携帯電話やスマートフォンを時計として使用することも認めません。

第2次試験 2日目 7月20日(日)

(1) 日程

- ・受付時間は第1次試験結果通知書に記載します。また、日程は受付時にお知らせします。
- ・第2次試験1日目の欠席者は、2日目の実技試験の受験はできません。

(2) 内容

実技試験【実施教科：音楽、美術、保健体育、英語、工業（デザイン）】

※中学校教諭・高等学校教諭の受験区分のみ

(3) 持参品

1	受験票
2	第1次試験結果通知書
3	上履き（会場校での貸し出しはしません。）
4	下足入れ用のビニール袋
5	筆記用具
6	実技教科・科目で必要な下記に記載されたもの

※ 時計を試験会場で使用する場合は、計時機能のみの時計に限ります。腕時計型ウェアラブルコンピュータ等のメールやインターネットへの接続機能のある機器を試験中に使用することは認めません。また、携帯電話を時計として使用することも認めません。

教科（科目）	持参する物
音楽	① 音楽実技試験に使用する楽器のうち、ピアノ、コントラバス、マリンバ以外の楽器 ② 専攻実技で演奏する楽譜1部（提出用） ※演奏は暗譜 ③ 共通課題で演奏する楽譜2部（提出用と演奏用） ※暗譜で演奏する場合は、提出用のみ1部 ④ 必要があれば演奏で使用する靴等
美術	鉛筆デッサン用具一式（カルトン・画版は使用不可）
保健体育	① 実技試験に適した服装 ② 体育館シューズ及び屋外用シューズ（スパイク不可） ③ 水泳選択者は水泳着及び水泳帽 ④ 柔道選択者は自分の体にあった柔道着で空手衣は不可 インナーはボタンのないTシャツを着用 ⑤ 剣道選択者は竹刀、剣道着、はかま、面手ぬぐい及び剣道防具一式 ⑥ 縦15cm×横25cmの白地の布に、受験番号を黒色（字幅1cm）で記入したゼッケンを衣服の前後に縫いつける。 柔道選択者は、柔道着の背の部分にゼッケンを縫いつける。 剣道選択者は、B6サイズのタックシールをゼッケンとして垂れに貼る。 ⑦ 実施種目に必要な用具や衣類等を持ち運ぶためのバッグ ⑧ 健康保険証（写しも可）又はマイナ保険証（資格確認書も可）
工業 （デザイン）	鉛筆デッサン用具一式

第2次試験会場

試験会場 所在地	交通機関
稲沢市立稲沢西中学校 稲沢市稲沢町前田365の10	○名鉄本線「国府宮駅」から名鉄バス（矢合系統・アピタ稲沢店系統）で「稲沢町前田」下車南200m
江南市立古知野中学校 江南市高屋町遠場148	○名鉄犬山線「江南駅」下車北1,000m
春日井市立南城中学校 春日井市下市場町一丁目2の3	○JR中央本線「神領駅」下車西1,100m ○名鉄バス名多線「篠木8丁目」下車南南東500m
清須市立清洲中学校 清須市一場695	○名鉄本線「新清洲駅」下車北1,200m ○JR東海道本線「清洲駅」下車南東1,000m
蟹江町立蟹江中学校 海部郡蟹江町宝三丁目20	○近鉄名古屋線「近鉄蟹江駅」下車南東300m
東浦町立東浦中学校 知多郡東浦町大字石浜字障戸19	○JR武豊線「石浜駅」下車北西800m

岡崎市立南中学校 岡崎市戸崎町野畔8の1	○名鉄「東岡崎駅」から名鉄バスJR岡崎駅行「戸崎町」下車 東80m
豊田市立上郷中学校 豊田市上郷町4の5の1	○愛知環状鉄道「三河上郷駅」下車南東300m
高浜市立高浜中学校 高浜市湯山町7の1の1	○名鉄三河線「三河高浜駅」下車東500m
西尾市立鶴城中学校 西尾市鶴城町上道天1の2	○名鉄西尾線「桜町前駅」下車西800m
豊川市立御津中学校 豊川市御津町湍野山下20	○JR東海道本線「愛知御津駅」下車北700m
豊橋市立中部中学校 豊橋市舟原町154	○豊橋鉄道東田本線「東八町駅」下車南500m
愛知県立旭丘高等学校 名古屋市東区出来町三丁目6の15	○JR中央線「大曾根駅」南口下車南800m ○地下鉄名城線「大曾根駅」下車南900m
愛知県立明和高等学校・附属中学校 名古屋市東区白壁2の32の6	○地下鉄名城線「名古屋城駅」下車東500m ○名鉄瀬戸線「東大手駅」下車東すぐ
愛知県立愛知商業高等学校 名古屋市東区徳川1の12の1	○地下鉄桜通線「車道駅」下車北西830m ○名鉄瀬戸線「森下駅」下車南1,100m
愛知県立江南高等学校 江南市北野町川石25の2	○名鉄犬山線「名鉄江南駅」下車東500m
愛知県立半田高等学校・附属中学校 半田市出口町1の30	○名鉄河和線「住吉町駅」下車西600m
愛知県立横須賀高等学校 東海市高横須賀町広脇1	○名鉄河和線「高横須賀駅」下車東650m ○名鉄常滑線「尾張横須賀駅」下車東1,400m
愛知県立知立東高等学校 知立市長篠町大山18の6	○名鉄本線「知立駅」下車南東1,700m ○名鉄本線「牛田駅」下車南西1,100m
愛知県立時習館高等学校 豊橋市富本町	○豊橋鉄道渥美線「愛知大学前駅」下車南500m

※ 試験会場への問い合わせは、御遠慮ください。

※ 試験会場の敷地内は全面禁煙です。

※ 試験会場へは公共交通機関を利用してください。(近隣の商業施設等への駐車は厳禁です。)

※ 公共交通機関への問い合わせは【p20】を参照してください。

※ 公共交通機関の遅れにより、やむを得ず受付時間に間に合わない場合は、①及び②のとおり対応してください。

① 試験会場に速やかに連絡

② 公共交通機関が発行する「遅延証明書」等を取得し、試験会場の受付で提示又は提出

第2次試験の結果通知及び採用

8月29日(金)付けで、郵送により通知します。

(1) 合格者

令和8年(2026年)4月1日付で採用します。

(2) 補欠者

受験区分・教科(科目)ごとの新規採用教員の欠員状況に応じて、令和8年(2026年)4月1日以降順次採用します。

なお、令和9年(2027年)3月31日までに採用されないときは失効となります。

また、補欠者への措置として、令和9年度(2027年度)採用愛知県公立学校教員採用選考試験において「昨年度の補欠者に対する特別選考」の出願資格を有する者とします。

※ 小学校教諭及び中学校教諭の採用者については、一定期間を経過した後に小学校及び中学校の職種間で異動することがあります。

大学院進学等による採用辞退者への措置

選考結果が「合格」であった人で、受験した区分・教科の専修免許状を取得できる大学院(教職大学院を含む。)に進学又は在学を理由として辞退書を提出し、令和8年度(2026年度)の採用を辞退した人が、下の表に示す「愛知県公立学校教員採用選考試験」に同一の受験区分・教科で出願する場合は、「大学院進学による採用辞退者に対する特別選考」の資格を有する者とします。修業年限は各大学院の所定の期間(最大3年)とし、それを越えて在学している場合は、資格を失うものとします。

※ 令和8年度(2026年度)採用 愛知県公立学校教員採用選考試験において「大学院進学による採用辞退者に対する措置」で「大学院進学による採用辞退者に対する特別選考」の出願資格を有する者については、次に示す該

当年度の採用選考試験は、**第2次試験の口述試験（個人面接）での選考**とします。

大学院 進学者	① 令和10年度（2028年度）採用 愛知県公立学校教員採用選考試験（2027年実施）への出願 [修業年限が2年の場合]
	② 令和11年度（2029年度）採用 愛知県公立学校教員採用選考試験（2028年実施）への出願 [修業年限が3年の場合]
大学院 在学者	① 令和9年度（2027年度）採用 愛知県公立学校教員採用選考試験（2026年実施）への出願 [修業年限が2年で大学院1年生] 愛知県公立学校教員採用選考試験（2026年実施）への出願 [修業年限が3年で大学院2年生]
	② 令和10年度（2028年度）採用 愛知県公立学校教員採用選考試験（2027年実施）への出願 [修業年限が3年で大学院1年生]

※ 大学院在学者の学年は、令和8年度（2026年度）採用愛知県公立学校教員採用選考試験（2025年実施）出願時の学年とします。

※ 選考結果が「補欠」であった人は、「大学院進学による採用辞退者への措置」の資格を有しません。

第8 選考の方法等

愛知県公立学校の教員の採用に当たっては、次の各選考試験の結果を選考資料とし、人物重視の観点に基づいて、総合的に評価を行います。

1 第1次試験

(1) 「教職・教養」及び「教科専門」

全区分・教科とも各60分100点満点で実施する。

(2) 「小論文」

次に示す観点に基づき、5段階で評価する。

- ア 教育に対する見識をもち、現実に対する認識は適切であるか。
- イ 教育に対する意欲は十分であるか。
- ウ 教師として現実に立脚した展望をもっているか。
- エ 出題の意図を的確にとらえ、論旨が一貫しているか。
- オ 文章表記は適切であるか。

小論文の評価	
A	特に優秀
B	優秀
C	普通
D	やや不十分
E	不十分

(3) 外国語堪能者加点申請者の当該外国語による「面接」

当該外国語の運用能力を3段階で評価する。

外国語堪能者加点申請者の当該外国語による「面接」の評価	
A	当該外国語の運用能力に優れている。
B	ある程度の当該外国語の運用能力を有している。
C	当該外国語の運用能力は不十分である。

2 第2次試験

(1) 「個人面接」

積極性、表現力、責任感、協調性、適応性、社会性等の観点に基づき、5段階で評価する。

(2) 「実技試験」（特別支援学校教諭は除く。）

次の教科・科目について、下の表のとおり実施する。満点は10点とする。なお、保健体育の（※）については、必須及び選択の合計5種目を実施する。

個人面接の評価	
A	特に優秀
B	優秀
C	普通
D	やや不十分
E	不十分

教科	音楽	美術	保健体育	英語	工業 (デザイン)
時間	15分程度	120分	※	10分程度	120分

実施区分については、別紙「令和8年度（2026年度）採用 愛知県公立学校教員採用選考試験の採用予定人員等」で確認してください。

第9 選考試験結果の情報提供

1 選考試験合格者のWebページ掲載

第1次試験の合格者、第2次試験の合格者及び補欠者の受験番号を、下記のとおり愛知県教育委員会Webページに掲載します。

愛知県 教員採用

検索

(1) Web ページ

<https://www.pref.aichi.jp/site/kyoinsaiyou/>

(2) 期間

第1次試験 7月7日(月) 午前10時から8月6日(水) 午前10時まで

第2次試験 8月29日(金) 午前10時から9月26日(金) 午前10時まで

2 受験者への選考結果の情報提供について

試験の結果を下記のとおり結果通知書に掲載します。

試験	対象者	提供する情報
第1次試験	・一般選考受験者 ・英語有資格者特別選考受験者 ・大学3年生等前倒し特別選考受験者	①筆記試験(「教職・教養」)の得点 ②筆記試験(「教科専門」)の得点 ③小論文の評定
	・元教諭・講師経験者特別選考受験者 ・現職教諭特別選考受験者	②筆記試験(「教科専門」)の得点 ③小論文の評定
	・外国語(ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピン(タガログ)語)堪能者	上記①～③に加えて ④当該外国語による「面接」の評定 〔当該外国語面接受験者の中で上位よりAからCの3段階〕
第2次試験	・第2次試験受験者	①口述試験(個人面接)の評定 ②実技試験の得点

第10 勤務条件

1 給与等(2025年4月1日現在)

(1) 初任給

区分	給料月額	地域手当等	計
小・中・高等学校教諭(大卒)	258,000円	35,727円	293,727円
小・中・高等学校教諭(短大卒)	240,700円	33,205円	273,905円
特別支援学校教諭(大卒)	258,000円	47,770円	305,770円
特別支援学校教諭(短大卒)	240,700円	44,957円	285,657円

(注) 地域手当等: 地域手当、教職調整額、給料の調整額、義務教育等教員特別手当の計

(2) 前歴加算

高等学校卒業以降に有用な経験がある場合の初任給は、一定の基準により加算されます。

(3) 各種手当

扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当などが条例に基づき支給されます。

また、へき地学校、定時制高等学校に勤務する者及び農業・工業高等学校等に勤務し、実習教科を担当する者には、その職務に係る手当について条例に基づき別途支給されます。

2 勤務時間等

(1) 勤務時間

1週間について38時間45分

(2) 休日等

土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

(3) 休暇等

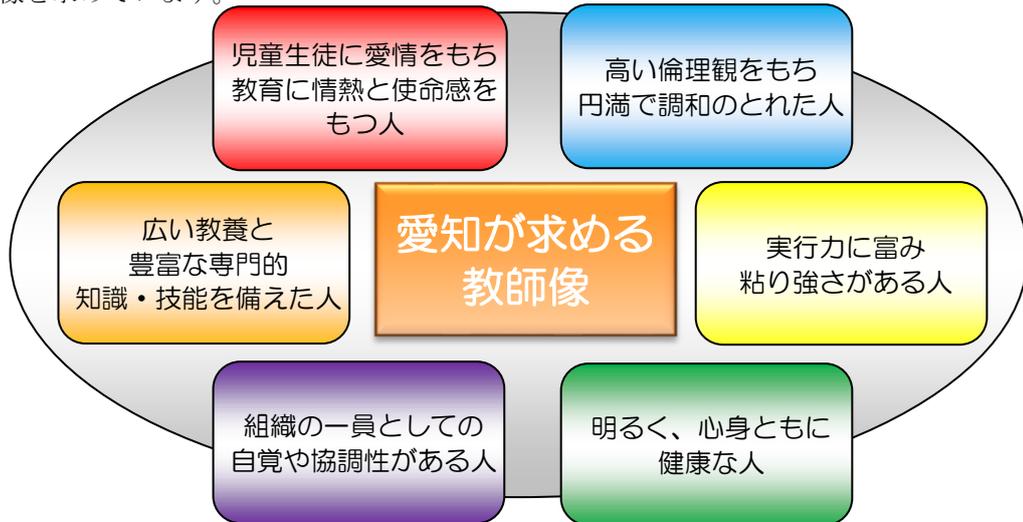
年次休暇(4月1日採用の場合、年20日)、療養休暇、特別休暇(出生サポート休暇、出産休暇、健康管理休暇、忌引休暇、結婚休暇等)、介護休暇等

3 障害者に対する合理的配慮について

障害のある方に対し、一人一人の特性や場面によって発生する社会的障壁を取り除くため必要かつ合理的な配慮を行います。

第11 愛知が求める教師像

愛知県では「自らを高めること」と「社会の担い手となること」を基本とした教育を進めるため、次のような教師像を求めています。



また、愛知県教育委員会では、教員等が高度専門職としての職責、経験及び適性に応じて身につけるべき資質・能力を明確化するために、「愛知県教員育成指標」を策定しました。それぞれの教員等が、どのような資質・能力を発揮し、どのような姿を思い描きながらキャリアを積んでいけばよいかを示したものです。そのうちの「愛知県が求める着任時の姿」が以下のものです。

ステージ 資質・能力		愛知県が求める着任時の姿
素養	教育的愛情・使命感・責任感	○児童生徒の伸びようとする姿を捉え、愛情をもって寄り添い、支え続け、児童生徒の成長に喜びを感じる。 ○児童生徒の未来を真剣に考えるとともに、将来を担う児童生徒の成長を請け負う使命感や責任感を自覚する。
	倫理観・人間性・行動力	○高い倫理観をもち、法令を遵守し、児童生徒の手本となるような立ち振る舞いを心がけ、児童生徒との信頼関係を築こうとする。 ○児童生徒の目標・憧れとなるような魅力的な人間の姿を追求する。 ○自ら行動し、粘り強く、職務に取り組もうとする。
	自己教育力・創造的思考力	○幅広い教養と高い専門性を備えつつ、常に自分の姿を振り返り、向上心を忘れることなく自ら学び続ける意欲をもっている。 ○新たな問題に直面しても、柔軟に対応するとともに、常に創意工夫しながら物事に取り組んでいこうとする。
	コミュニケーション力	○自分の考えを伝えるとともに、周囲の状況や相手の思いを踏まえ、共通理解を図りながら協働的に行動する。
指導力	児童生徒理解	○子どもの発達段階や成長に関わる基礎的な知識を身に付け、児童生徒理解の意義や重要性を認識し、一人一人に愛情をもち積極的に関わろうとする。
	学習指導	○学習指導要領を基に、発問や板書、環境の構成などの基礎的な指導技術を身に付けたり、指導計画に従い、実践したりしようとする。
	生徒指導	○生徒指導及びキャリア教育の意義を踏まえ、個や集団を指導するための手だてを知り、実践しようとする。
	多様性への理解と教育支援	○人権感覚をもつとともに、児童生徒の個性を尊重し、個に応じた指導・支援をする必要性を認識している。 ○特別支援教育、外国人児童生徒教育など特別な配慮を必要とする児童生徒の多様な背景を理解しようするとともに、インクルーシブ教育の大切さを認識している。
マネジメント力	学級経営・学年経営・学校運営	○理想とする児童生徒の姿や自分自身の姿をもち、その実現に向けて、実践しようとする。 ○学校教育の意義や教育に関する今日的な課題などの教育に関わる情報を積極的に得ようとしている。
	学校安全・危機管理	○学校安全についての基礎的な知識を身に付け、児童生徒の回りの危険を察知し、回避したり、適切に対応したりしようとする。
	同僚との連携・協働	○社会人として良識ある言動をし、円滑な人間関係をつくろうとする。
	地域社会との連携・折衝	○教育公務員としての自覚をもち、社会とのつながりを意識して行動する。 ○家庭、地域、関係諸機関との連携の重要性を理解し、積極的に関わろうとする。

愛知県公立学校教員採用選考試験コード表

1 受験種別コード

(1) 下の表からコードを選択してください。

コード	受 験 種 別
10	一般選考
15	障害者選考
20	昨年度の補欠者に対する特別選考
28	教職大学院修了見込者特別選考
40	元教諭・講師経験者特別選考
42	介護理由退職者特別選考
50	現職教諭特別選考
80	英語有資格者特別選考
86	市町村教育長推薦特別選考
87	国際バカロレア教員資格特別選考
88	大学推薦特別選考
90	大学院進学による採用辞退者に対する特別選考
91	大学3年生等前倒し特別選考
92	大学3年生等前倒し特別選考（前年度第1次試験合格者）

※ 障害者選考で、他の特別選考と併願する場合は、願書（登録カードA）の受験種別コード欄に 15 を記入し、その下「必要事項欄」に該当する番号（20～92）を記入すること

(2) 「英語有資格者特別選考」で他の特別選考と併願する場合は、下の表からコードを選択してください。

コード	受 験 種 別
21	英語有資格者特別選考と昨年度の補欠者に対する特別選考との併願
29	英語有資格者特別選考と教職大学院修了見込者特別選考との併願
41	英語有資格者特別選考と元教諭・講師経験者特別選考との併願
51	英語有資格者特別選考と現職教諭特別選考との併願
82	英語有資格者特別選考と市町村教育長推薦特別選考との併願
83	英語有資格者特別選考と大学推薦特別選考との併願
84	英語有資格者特別選考と大学3年生等前倒し特別選考（前年度第1次試験合格者）との併願

(3) 加点申請がある場合は、該当する項目にチェックを入れてください。

加点申請の可否は以下の表のとおりです。 ○…可 △…一部可 ×…否

受 験 種 別	可 否
一般選考	○
英語有資格者特別選考 ※ 加点申請のできない他の特別選考と併願した場合は、加点の対象とはなりません。	△
昨年度の補欠者に対する特別選考	×
現職教諭特別選考	○
市町村教育長推薦特別選考	△
元教諭・講師経験者特別選考	○
教職大学院修了見込者特別選考	×
大学3年生等前倒し特別選考（前年度第1次試験合格者）	×
大学院進学による採用辞退者に対する特別選考	×
国際バカロレア教員資格特別選考	×
大学推薦特別選考	×
介護理由退職者特別選考	×
大学3年生等前倒し特別選考	×

英語有資格者特別選考で他の特別選考と併願する場合は、併願する特別選考に準じます。
併願及び加点申請状況については受験票に記載します。

愛知県公立学校教員採用選考試験コード表

2 受験区分・教科(科目)コード

コード	受験区分	コード	教科 (科目)
01	小学校教諭	000	***
02	中学校教諭	010	国語
		020	社会
		030	数学
		040	理科
		050	音楽
		060	美術
		080	保健体育
		090	家庭
		100	英語
		110	英
03	高等学校教諭	010	国語
		025	地理歴史
		026	公民
		030	数学科
		040	理学科
		050	音楽
		060	美術
		080	保健体育
		100	家庭
		110	英語
		120	商業
		129	工業
		131	工業
		132	工業
		133	工業
		134	工業
		136	工業
		139	工業
		145	工業
		140	農業
		150	看護
		170	情報
		180	福祉
226	水産		
227	水産		
228	水産		
229	水産		
230	水産		
04	特別支援学校教諭(小学部)	000	***
05	特別支援学校教諭 中学・高等部	010	国語
		020	社会
		030	数学
		040	理科
		050	音楽
		060	美術
		080	保健体育
		090	家庭
		100	英語
		110	英
		131	工業
		235	理療
		06	養護教諭 小・中学校
07	養護教諭 県立学校	000	***
08	栄養教諭 小・中・県立学校	000	***

3 性別コード

コード	性別
1	男
2	女

4 元号コード

コード	元号
3	昭和
4	平成
5	令和

5 教員免許状
教科別コード

コード	免許状	
100	小学校教諭	
201	中学校教諭	国語
202		社会
203		数学
204		理学科
205		音楽
206		美術
208		保健体育
209		家庭
210		英語
211		英
240	その他	
301	高等学校教諭	国語
302		社会
303		数学
304		理学科
305		音楽
306		美術
308		保健体育
310		家庭
311		英語
312		商
313	工業	
314	農業	
315	看護	
317	水産	
318	工芸	
325	地理歴史	
326	公民	
327	情報	
328	福祉	
329	商船	
340	その他	
420	養護教諭	
450	栄養教諭	
520	特別支援学校	理療
531	特別支援学校	盲学校
532	特別支援学校	聾学校
533	特別支援学校	養護学校
551	特別支援学校(視)	特別支援学校(視)
552	特別支援学校(聴)	特別支援学校(聴)
553	特別支援学校(知)	特別支援学校(知)
554	特別支援学校(肢)	特別支援学校(肢)
555	特別支援学校(病)	特別支援学校(病)
534	幼稚園教諭	

6 免許種コード

コード	免許種
0	専修
1	1種
2	2種

7 免許所有コード

コード	所有・見込
1	所有
2	見込

8 都道府県コード

コード	県名等
01	北海道
02	青森
03	岩手
04	宮城
05	秋田
06	山形
07	福島
08	茨城
09	栃木
10	群馬
11	埼玉
12	千葉
13	東京
14	神奈川
15	新潟
16	富山
17	石川
18	福井
19	山梨
20	長野
21	岐阜
22	静岡
24	三重
25	滋賀
26	京都
27	大阪
28	兵庫
29	奈良
30	和歌山
31	鳥取
32	島根
33	岡山
34	広島
35	山口
36	徳島
37	香川
38	愛媛
39	高知
40	福岡
41	佐賀
42	長崎
43	熊本
44	大分
45	宮崎
46	鹿児島
47	沖縄
98	資格認定
99	外国

9 地区別コード

コード	地区
51	一宮市・稲沢市
52	瀬戸市・春日井市
	小牧市・尾張旭市
	豊明市・日進市
	長久手市・清須市
	北名古屋市
	西春日井郡
愛知郡	
53	大山市・岩倉市
	江南市・丹羽郡
54	津島市・愛西市
	弥富市・あま市
	海部郡
55	大府市・知多市
	東海市・常滑市
	半田市・知多郡
56	安城市・岡崎市
	刈谷市・高浜市
	知立市・西尾市
	碧南市・額田郡
	豊田市・みよし市
59	北設楽郡
60	新城市
61	蒲郡市・豊川市
	豊橋市・田原市
62	名古屋市

10 学校種別コード

コード	大学等種別
1	国立大学法人(国立)
2	公立
3	私立

11 卒・見込コード

コード	卒業・見込
01	卒業(大学)
02	修了(大学院)
06	卒業見込(大学)
07	修了見込(大学院)

12 履修課程コード

コード	課程
1	小学校教員養成課程
2	中学校教員養成課程
3	その他の教員養成課程

注) 教員養成課程を持つ大学・学部の場合のみ記入してください。

例) ○○大学教育学部
小学校教員養成課程

13 現在職歴コード

コード	現在の職歴
1	公立学校教諭・養護教諭(正規任用者)
2	公立学校教諭・養護教諭・講師(臨時的任用者)・任期付任用教員(常時勤務)
	公立学校非常勤講師・任期付任用教員(短時間勤務)
4	公立学校実習助手・寄宿舎指導員(正規任用者)
5	公立学校実習助手・寄宿舎指導員(臨時的任用者)
6	私立学校教員(正規任用者)
7	官公庁職員
8	会社員
9	その他

14 講師任用に関する情報提供コード

コード	希望の有無
1	県教育委員会及び市町村教育委員会への情報提供を希望する
2	愛知県教員人材銀行(県の組織でない外部団体)への登録を希望する
3	上記1及び上記2をともに希望する

15 大学院修士・博士課程コード

コード	修士・博士
11	修士課程
21	修士課程

16 大学コード（名称変更があった場合、同一校とみなしてコードを記入すること）

〔国立大学法人〕		〔国立大学法人〕		〔国立大学法人〕		〔国立大学法人〕		〔国立大学法人〕	
	(コード)								
北海道大学	10001	山口大学	10063	富山県立大学	11040	東京女子大学	12103	名古屋経済大学	12316
北海道教育大学	10002	徳島大学	10064	福井県立大学	11042	東京農業大学	12109	豊田工業大学	12324
室蘭工業大学	10003	香川大学	10065	福岡県立大学	11043	東京理科大学	12111	三重中京大学	12327
小樽商科大学	10004	愛媛大学	10066	青森公立大学	11044	東邦大学	12112	名古屋外国語大学	12353
帯広畜産大学	10005	高知大学	10067	会津大学	11045	桐朋学園大学	12113	愛知産業大学	12384
旭川医科大学	10006	福岡教育大学	10068	岡山県立大学	11047	東洋大学	12114	愛知みずほ大学	12390
北見工業大学	10007	九州大学	10069	宮崎県立大学	11048	二松学舎大学	12115	東海学園大学	12412
弘前大学	10008	九州工業大学	10071	広島市立大学	11050	日本大学	12116	豊橋創造大学	12423
岩手大学	10009	佐賀大学	10072	茨城県立医療大学	11051	日本女子大学	12121	名古屋学芸大学	12433
東北大学	10010	長崎大学	10073	長野県看護大学	11052	日本体育大学	12123	名古屋産業大学	12435
宮城教育大学	10011	熊本大学	10074	滋賀県立大学	11054	法政大学	12126	人間環境大学	12440
秋田大学	10012	大分大学	10075	神戸市看護大学	11055	武蔵野音楽大学	12130	桜花学園大学	12441
山形大学	10013	宮崎大学	10076	宮城大学	11056	明治大学	12133	愛知東邦大学	12444
福島大学	10014	鹿児島大学	10077	前橋工科大学	11057	明治学院大学	12134	星城大学	12445
茨城大学	10015	琉球大学	10078	三重県立看護大学	11058	立教大学	12137	名古屋文理大学	12452
筑波大学	10016	浜松医科大学	10079	宮崎県立看護大学	11059	早稲田大学	12140	大同大学	12459
宇都宮大学	10017	滋賀医科大学	10080	岐阜県立看護大学	11060	神奈川大学	12142	愛知文教大学	12468
群馬大学	10018	宮崎医科大学	10081	埼玉県立大学	11061	岐阜経済大学	12161	洗足学園音楽大学	12499
埼玉大学	10019	富山医科薬科大学	10082	東京都立大学	11064	岐阜聖徳学園大学	12164	岡崎女子大学	12547
千葉大学	10020	島根医科大学	10083	山梨県立大学	11069	愛知大学	12165	大和大学	12558
東京大学	10021	長岡技術科学大学	10084	神奈川県立保健福祉大学	11070	愛知医科大学	12166	その他私立大学	14999
東京科学大学	10107	豊橋技術科学大学	10085	高知県立大学	11071	愛知学院大学	12167		
東京外国語大学	10023	上越教育大学	10089	広島県立保健福祉大学	11082	愛知工業大学	12168	〔私立短期大学・短期大学部〕	
東京学芸大学	10024	兵庫教育大学	10092	沖縄県立看護大学	11083	愛知学泉大学	12169	愛知学院短期大学	25213
東京農工大学	10025	鳴門教育大学	10095	兵庫県立大学	11084	金城学院大学	12170	愛知淑徳短期大学	25214
東京芸術大学	10026	鹿屋体育大学	10096	大分県立看護科学大学	11085	椋山女学園大学	12171	愛知大学短期大学部	25216
東京海洋大学	11067	総合研究大学院大学	10097	岩手県立大学	11086	中京大学	12173	愛知学泉女子短期大学	25217
お茶の水女子大学	10031	北陸先端科学技術大学院大学	10098	石川県立大学	11087	至学館大学	12174	安城学園大学短期大学部	25218
電気通信大学	10032	奈良先端科学技術大学院大学	10099	新見公立大学	11088	中部大学	12175	一宮女子短期大学	25219
一橋大学	10033	その他国立大学	10999	県立広島大学	11089	同朋大学	12176	市邨学園短期大学	25220
横浜国立大学	10034			山口県立大学	11090	名古屋学院大学	12177	愛知文教女子短期大学	25221
新潟大学	10035	〔公立大学〕		秋田県立大学	11091	名古屋芸術大学	12178	岡崎女子短期大学	25222
富山大学	10036	札幌医科大学	11001	新潟県立大学	11092	名古屋芸術大学	12178	金城学院大学短期大学部	25223
金沢大学	10037	福島県立医科大学	11002	島根県立大学	11094	名古屋商科大学	12179	椋山女学園大学短期大学部	25224
福井大学	10038	高崎経済大学	11003	尾道市立大学	11095	名古屋女子大学	12180	愛知女子短期大学	25225
山梨大学	10039	横浜市立大学	11005	福山市立大学	11096	藤田医科大学	12181	中京女子大学短期大学部	25226
信州大学	10040	金沢美術工芸大学	11006	その他公立大学	11999	南山大学	12182	東海学園女子短期大学	25227
岐阜大学	10041	都留文科大学	11007			日本福祉大学	12183	東邦学園短期大学	25228
静岡大学	10042	岐阜薬科大学	11008	〔私立大学〕		名城大学	12184	藤田保健衛生大学短期大学	25229
名古屋大学	10043	愛知県立大学	11011	酪農学園大学	12011	皇学館大学	12185	名古屋文理短期大学	25230
愛知教育大学	10044	愛知県立芸術大学	11012	仙台大学	12018	大谷大学	12186	名古屋自由学院短期大学	25232
名古屋工業大学	10045	名古屋市立大学	11013	獨協大学	12040	京都産業大学	12189	名古屋女子商科短期大学	25233
三重大学	10046	京都市立芸術大学	11014	日本工業大学	12041	京都女子大学	12190	名古屋女子大学短期大学部	25234
滋賀大学	10047	京都府立大学	11015	文教大学	12042	同志社大学	12195	名古屋聖霊短期大学	25235
京都大学	10048	京都府立医科大学	11016	青山学院大学	12051	同志社女子大学	12196	名古屋造形芸術短期大学	25236
京都教育大学	10049	大阪市立大学	11018	北里大学	12057	佛教大学	12199	名古屋短期大学	25237
京都工芸繊維大学	10050	大阪府立大学	11019	共立女子大学	12058	立命館大学	12200	南山短期大学	25238
大阪大学	10051	神戸市外国語大学	11020	国立音楽大学	12061	龍谷大学	12201	日本福祉大学女子短期大学部	25239
大阪外国語大学	10052	神戸商科大学	11021	慶應義塾大学	12062	大阪経済大学	12205	江南女子短期大学	25240
大阪教育大学	10053	奈良県立医科大学	11023	国学院大学	12064	大阪体育大学	12213	愛知みずほ大学短期大学部	25241
神戸大学	10054	和歌山県立医科大学	11024	国士館大学	12066	関西大学	12218	名城大学短期大学部	25242
神戸商船大学	10055	下関市立大学	11026	駒澤大学	12067	関西外国語大学	12220	柳城女子短期大学	25243
奈良教育大学	10056	北九州市立大学	11028	順天堂大学	12070	近畿大学	12221	名古屋女子文化短期大学	25244
奈良女子大学	10057	九州歯科大学	11029	上智大学	12071	四天王寺大学	12222	愛知工業大学短期大学部	25543
和歌山大学	10058	福岡女子大学	11030	専修大学	12084	関西学院大学	12232	名古屋経営短期大学	25544
鳥取大学	10059	長崎県立大学	11031	創価大学	12085	甲南大学	12234	その他私立短期大学	25999
鳥根大学	10060	熊本県立大学	11032	大東文化大学	12087	武庫川女子大学	12246		
岡山大学	10061	群馬県立女子大学	11034	玉川大学	12090	奈良大学	12250		
広島大学	10062	沖縄県立芸術大学	11036	中央大学	12092	岡山理科大学	12253		
		静岡県立大学	11037	津田塾大学	12093	西南学院大学	12277		
		釧路公立大学	11038	帝京大学	12094	愛知淑徳大学	12301		
		広島県立大学	11039	東海大学	12095	名古屋音楽大学	12307	〔その他〕	
								資格認定	19998

※海外の大学・短期大学については、「その他私立大学」、「その他私立短期大学」とすること

願書を提出する前にもう一度チェックを！

以下の事柄を、□に✓をつけながらもう一度確認してください。

出願締切後は、入力内容の修正はできません。必ず入力内容をよく確認してから入力内容を確定させてください。

1 入力漏れや入力ミスはありませんか？

- 願書のコードは正しいコード番号を入力しましたか。
- 郵便物を確実に受け取れる住所を入力しましたか。（転居や下宿のため宛て先不明にならないように）
- 電話番号（固定電話だけでなく携帯電話も）を正確に入力しましたか。
- 職歴がある人は、正式な職名等を遺漏なく入力しましたか。**在職年月の期間に途切れがある場合は、「在家庭」と見なします。**
- 教員免許状については、「所有」か「見込」か、正しく記入しましたか。
- 学歴を正しく記入し、正しいコード番号を記入しましたか。（4年制と短大の番号を間違えないように）
- 家族の居住地が愛知県の場合、コード表の[9]の番号を入力しましたか。

2 書類等の郵送の準備はできていますか？

- 特別選考や加点申請に必要な書類を、**令和7年5月9日（金）＜消印有効＞**までに、郵送しましたか。（必要な人のみ）

※ 出願受付期間終了後、住所及び連絡先等の変更が生じた場合は、①氏名（自署）、②受験番号（受験票配信後）、③受験区分・受験教科、④住所、⑤電話番号、⑥変更内容を申立書（任意の様式）に記入し、下記の郵送先に提出してください。

なお、出願締切後の、**受験区分、受験教科の変更はできません。**

郵送先

〒460-8534 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
愛知県教育委員会事務局管理部教職員課
（郵便番号とあて先を記載すれば住所は省略できます）

※封筒の裏に「受験区分〇〇」「教科（科目）〇〇」（「受験番号」※受験票配信後）を朱書きしてください。